

令和2年度事業報告

I 事業報告の概要

近年、少子高齢化の進行や家族形態の変容、雇用形態の多様化、近隣住民の関係希薄化を背景に社会的孤立や生活困窮者の増加、子どもの貧困などの福祉課題が顕在化している。さらに新型コロナウイルス感染症の大流行による経済不況により深刻な貧困問題が急激に広がるとともに、「三密」対策や「新しい生活様式」等により、地域で培ってきた住民等による見守り支え合う地域福祉活動にも大きな影響を及ぼした。

こうした状況のもと、本会は地域福祉を推進する中核的な団体として、「第二次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画」の基本理念である「誰もが安心して明るく楽しく暮らしていけるまちづくり」に向けて、行政をはじめ地域住民、社会福祉を目的とする関係施設や団体等と協働して、地域福祉の充実に向けた事業を積極的に推進実施した。

併せて、本会中期経営計画となる「防府市社会福祉協議会発展・強化計画」に基づき、法人運営、地域福祉、生活支援の各部門により事業に積極的に取り組んだ。

令和2年度は、次の5つの重点項目を基盤に据え諸事業を以下のとおり展開した。

II 重点項目

1 防府市地域福祉活動計画の推進

第三次防府市地域福祉活動計画の策定

第三次地域福祉活動計画については、第二次計画の基本理念を継承し、実施目標計画の成果と具体的な検証を踏まえ、深刻化する生活課題に対応していくために、新たな視点での取り組みを加えて住民、地域・関係機関・団体等、本会、行政それぞれの役割を明確にしたうえで、第三次防府市地域福祉計画・防府市地域福祉活動計画を策定した。

2 防府市社会福祉協議会発展・強化計画の推進

第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の策定

第二次発展・強化計画については、防府市社会福祉協議会を取り巻くさまざまな変化に対応すべく、第一次計画の成果と課題を踏まえ、地域福祉を推進する中核的な団体として事業経営のビジョンや目標を明確にし、その実現に向けて組織、事業、財務等に関する具体的な取り組みを計画的に遂行するための、中期経営計画である第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画を策定した。

3 小地域福祉活動事業の展開強化

地区社会福祉協議会の支援、小地域福祉活動の強化

地区社会福祉協議会の支援については、地区社会福祉協議会会長会議を定例4回と臨時1回開催し、理事会の報告や情報交換、敬老会事業の協議等を行った。

小地域福祉活動の強化については、主に地域で孤立している人を支えることを目指した小地域

における見守りネットワーク活動等への地区社会福祉協議会における取り組みを支援した。

4 地域における総合相談・生活支援体制の強化、確立

防府市自立相談支援センターの機能充実、成年後見制度利用促進事業の推進

自立相談支援センターについては、相談に関する過去5年間の平均値を比較すると、相談者が3倍、支援プラン作成者が5倍になるなど、コロナ禍において生活が立ち行かなくなる方への対応に奔走した。食糧支援については、新たに発足したフードバンクほうふステーションやフードバンク山口と連携して、食糧を必要とする生活困窮者を支援した。

成年後見制度利用促進事業については、成年後見センターの設置に向けて本市における成年後見制度に対する認知度を把握するため、福祉施設や金融機関、民生委員・児童委員等にアンケート調査を実施した。また、成年後見制度の利用促進を図る機会として防府市成年後見利用促進セミナーを開催し、制度の周知を図った。

5 経営管理（ガバナンス）の強化と経営の透明性の確保

組織体制の整備、人事管理の適正化

組織のガバナンス強化を図るため、理事会及び評議員会を開催して事業計画、事業報告及び諸規程等の制定・改正を審議するとともに重要事項を報告し、評議員選任・解任委員会においては後任の評議員を選任した。また、所轄庁（福祉指導監査室）からの社会福祉法人運営自主点検表を活用して、適切な法人運営に努めた。

人事管理の適正化については、適切な労務管理を行うため、働き方改革関連法に対応した嘱託職員等の給与を見直した。また、職位や職務に応じた知識、技術等の習得など資質向上を図るため、職員研修体制の充実や人材育成に努めた。

Ⅲ 具体的事業

【法人運営部門】

1 法人運営事業

76,869,382 円

防府市社会福祉協議会を円滑に運営していくために、次の事業を実施した。

(1) 第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画の策定

事業報告	評 価
<p>5年間（令和3年度～令和7年度）の中期経営計画として、第一次計画の成果と課題を踏まえ、事業経営のビジョンや目標を明らかにし、その実現に向けて組織、事業、財務等に関する具体的な取り組みを計画的に遂行するための第二次防府市社会福祉協議会発展・強化計画を策定した。</p>	<p>今後は第二次市社協発展・強化計画を単年度事業計画に反映させ、着実な実施と進行管理に努めていきたい。</p>

(2) 法人運営事業

① 組織体制の整備

ア 会員の増強

事業報告			評 価																												
<table border="1"> <thead> <tr> <th>会員別</th> <th>対象数</th> <th>会費総額</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一般会員</td> <td>全世帯</td> <td>12,723,600円 【12,745,200円】</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">団体会員</td> <td>地区社協</td> <td>15団体 【15団体】</td> <td>45,000円 【45,000円】</td> </tr> <tr> <td>福祉団体</td> <td>27団体 【27団体】</td> <td>54,000円 【54,000円】</td> </tr> <tr> <td>施設団体</td> <td>25団体 【25団体】</td> <td>75,000円 【75,000円】</td> </tr> <tr> <td>連合団体</td> <td>6団体 【6団体】</td> <td>30,000円 【30,000円】</td> </tr> <tr> <td>特別会員</td> <td>5,550口 【5,387口】</td> <td>2,775,000円 【2,693,500円】</td> </tr> <tr> <td>賛助会員</td> <td>20口 【23口】</td> <td>100,000円 【115,000円】</td> </tr> <tr> <td colspan="2">合 計</td> <td>15,802,600円 【15,757,700円】</td> </tr> </tbody> </table>			会員別	対象数	会費総額	一般会員	全世帯	12,723,600円 【12,745,200円】	団体会員	地区社協	15団体 【15団体】	45,000円 【45,000円】	福祉団体	27団体 【27団体】	54,000円 【54,000円】	施設団体	25団体 【25団体】	75,000円 【75,000円】	連合団体	6団体 【6団体】	30,000円 【30,000円】	特別会員	5,550口 【5,387口】	2,775,000円 【2,693,500円】	賛助会員	20口 【23口】	100,000円 【115,000円】	合 計		15,802,600円 【15,757,700円】	<p>会費は合計では対前年度比で44,900円増加した。今後も会費の用途を明確にし、特に特別会員及び賛助会員の協力について支援を求めたい。</p>
会員別	対象数	会費総額																													
一般会員	全世帯	12,723,600円 【12,745,200円】																													
団体会員	地区社協	15団体 【15団体】	45,000円 【45,000円】																												
	福祉団体	27団体 【27団体】	54,000円 【54,000円】																												
	施設団体	25団体 【25団体】	75,000円 【75,000円】																												
	連合団体	6団体 【6団体】	30,000円 【30,000円】																												
特別会員	5,550口 【5,387口】	2,775,000円 【2,693,500円】																													
賛助会員	20口 【23口】	100,000円 【115,000円】																													
合 計		15,802,600円 【15,757,700円】																													
<p>〔年額会費〕 一般会員 1世帯 300円</p>																															

<p>団体会員</p> <p>地区社協 1団体 3,000円</p> <p>福祉団体 1団体 2,000円</p> <p>施設団体 1団体 3,000円</p> <p>連合団体 1団体 5,000円</p> <p>特別会員 1口 500円</p> <p>賛助会員 1口 5,000円</p>	
---	--

イ 評議員会及び役員会等の開催

事業報告	評 価
<p>㊦ 三役会の開催</p> <p>令和2年 4月 1日</p> <p>令和2年 4月30日</p> <p>令和2年 6月 1日</p> <p>令和2年 6月29日</p> <p>令和2年 7月30日</p> <p>令和2年 8月24日</p> <p>令和2年 9月28日</p> <p>令和2年10月29日</p> <p>令和2年12月 3日</p> <p>令和3年 1月 4日</p> <p>令和3年 2月 1日</p> <p>令和3年 2月22日</p> <p>令和3年 3月 4日</p>	<p>三役会を開催し、事業や予算の執行等について協議した。</p> <p>今後も定期的開催を継続し、情報共有に努めたい。</p>
<p>㊧ 理事会の開催</p> <p>令和2年 6月 9日</p> <p>報告第1号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>議案第1号 令和元年度事業報告について</p> <p>議案第2号 令和元年度資金収支決算について</p> <p>監査報告</p> <p>議案第3号 令和2年度資金収支補正予算（第1回）について</p> <p>議案第4号 定時評議員会の招集について</p> <p>議案第5号 評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>議案第6号 理事候補者の提案について</p> <p>議案第7号 評議員候補者の提案について</p> <p>議案第8号 評議員選任・解任委員の選任について</p>	<p>理事会は3回開催し、全議案の承認を得た。</p> <p>会長及び常務理事の職務執行状況について3回報告した。</p>

<p>令和2年10月30日</p> <p>報告第2号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>報告第3号 令和2年度事業実施状況及び予算執行状況について</p> <p>報告第4号 令和2年度資金収支流用予算（第1回）について</p> <p>議案第9号 令和2年度資金収支補正予算（第2回）について</p> <p>議案第10号 評議員候補者の提案について</p> <p>議案第11号 評議員選任・解任委員会の招集について</p> <p>議案第12号 評議員会の招集について</p> <p>令和3年3月16日</p> <p>報告第5号 会長及び常務理事の職務執行状況について</p> <p>報告第6号 令和2年度資金収支流用予算（第2回）について</p> <p>報告第7号 職員給与規程中改正について</p> <p>議案第13号 令和2年度資金収支補正予算（第3回）について</p> <p>議案第14号 令和3年度事業計画について</p> <p>議案第15号 令和3年度資金収支予算について</p> <p>議案第16号 嘱託職員等給与規程の制定について</p> <p>議案第17号 役職員の健康情報等の取扱規程の制定について</p> <p>議案第18号 事務局組織規程中改正について</p> <p>議案第19号 表彰基準中改正について</p> <p>議案第20号 経理規程中改正について</p> <p>議案第21号 職員就業規則中改正について</p> <p>議案第22号 嘱託職員就業規則中改正について</p> <p>議案第23号 臨時職員就業規則中改正について</p> <p>議案第24号 職員給与規程中改正について</p> <p>議案第25号 福祉サービスに関する苦情解決に関する規程中改正について</p> <p>議案第26号 「役員等損害賠償責任保険」契約の締結について</p> <p>議案第27号 理事候補者の提案について</p> <p>議案第28号 常務理事の選定について</p> <p>議案第29号 評議員会の招集について</p> <p>㊦ 評議員会の開催</p> <p>令和2年 6月25日（定時評議員会）</p> <p>報告第1号 評議員選任・解任委員会について</p> <p>議案第1号 令和元年度事業報告について</p>	<p>6月25日の定時評議員会を含め3回開催し、全議案の承認を得た。</p> <p>また、定時評議員会にお</p>
---	---

<p>議案第2号 令和元年度資金収支決算について 監査報告</p> <p>議案第3号 令和2年度資金収支補正予算（第1回）について</p> <p>議案第4号 理事の選任について</p> <p>令和2年11月20日</p> <p>報告第2号 評議員選任・解任委員会について</p> <p>報告第3号 令和2年度事業実施状況及び予算執行状況について</p> <p>報告第4号 令和2年度資金収支流用予算（第1回）について</p> <p>議案第5号 令和2年度資金収支補正予算（第2回）について</p> <p>令和3年 3月25日</p> <p>報告第5号 令和2年度資金収支流用予算（第2回）について</p> <p>議案第6号 令和2年度資金収支補正予算（第3回）について</p> <p>議案第7号 令和3年度事業計画について</p> <p>議案第8号 令和3年度資金収支予算について</p> <p>議案第9号 事務局組織規程中改正について</p> <p>議案第10号 理事の選任について</p> <p>㊤ 監査会の開催 令和2年 5月18日・19日 ・令和元年度業務執行状況及び財産状況の監査</p> <p>㊦ 評議員選任・解任委員会の開催 令和2年 6月16日 ・評議員の選任 1人</p> <p>令和2年11月10日 ・評議員の選任 1人</p>	<p>いて、令和元年度決算にかかる社会福祉充実残額について報告した。</p> <p>監査会は令和元年度の業務及び決算内容について監査を実施した。</p> <p>評議員の辞任に伴い委員会を開催し、後任の評議員の適格性について審議した。今年度は2回開催し、2人の評議員を選任した。</p>
--	--

ウ 役員等の研修

事業報告	評価
令和2年 7月17日 市町社協事務局長会議 山口市 参加人員 1人 令和2年 8月28日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 市町社協トップミーティング 山口市 予定人員 3人 令和2年 8月28日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 市町社協会長会議 山口市 予定人員 1人 令和3年 2月24日 市町社協会長・常務理事・事務局長会議 山口市 参加人員 3人	法人運営事業に関する研修等を計画どおり実施した。

エ 諸規程等の整備

事業報告	評価
㊦ 規程の制定 <ul style="list-style-type: none"> ・嘱託職員等給与規程 ・役職員の健康情報等の取扱規程 ㊧ 規程等の改正 <ul style="list-style-type: none"> ・事務局組織規程 ・表彰基準 ・経理規程 ・職員就業規則 ・嘱託職員就業規則 ・臨時職員就業規則 ・職員給与規程 ・福祉サービスに関する苦情解決に関する規程 	諸規程等を必要に応じて整備した。 働き方改革に伴い、就業規則等を改正した。

オ 組織運営の強化

事業報告	評価
社会福祉協議会は高い公益性が求められる社会福祉法人であることから、組織のガバナンス強化を図るため諸規程等の制定・改正を行った。 また、自立相談支援センターに正規職員を1名配置するとともに、新たに防府市から成年後見制度利用促進事業を受託することに伴い、正規職員1名を配置して事務局体制の整備に努めた。	今後も組織のガバナンス強化を図り、事務局体制の整備や適正な人員配置等に努めたい。

カ 広報啓発活動

事業報告	評 価
<p>㊦ 広報紙「社協だより防府」の発行配布</p> <ul style="list-style-type: none"> ・発行回数 年6回で偶数月の15日 ・発行部数 各回49,500部印刷で全戸配布 <p>㊧ ホームページの開設</p> <p>ホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」により社協情報を提供した。(http://hofushishakyo.jp/)</p> <p>㊨ マスコットキャラクターの決定</p> <p>市社協の知名度の向上及び市民の社会福祉への意識関心の喚起を目的とし、マスコットキャラクターの公募を行った。採用作品は愛称「ホーフウ」、役職「防府市社協思いやり大使」に決定した。</p>	<p>市民に対する社協の認知度を向上させるため、福祉情報を定期的あるいは随時提供した。</p> <p>また、マスコットキャラクターの公募には全国から364件の応募があった。</p> <p>今後は情報内容を充実させるとともに、キャラクターを活用して市社協をPRしていきたい。</p>

キ 情報公開の促進

事業報告	評 価
<p>定款、現況報告書、役員等報酬規程、役員・評議員名簿、事業計画書及び予算書、事業報告書及び決算書をホームページにおいて公表するとともに、事務所に備え置くことにより積極的な情報公開を行い健全な法人運営に取り組んだ。</p>	<p>今後も法人の情報を公開することにより経営の透明性の確保に努めたい。</p>

② 財務状況の適正化

ア 会計及び財務管理等の適正な実施

事業報告	評 価
<p>公共性の高い社会福祉法人として、透明性の確保と効果的・効率的な経営を目指すため、経理規程に則り会計処理や金銭管理について、内部牽制を機能させることで適正に実施した。また、所轄庁（福祉指導監査室）からの社会福祉法人運営自主点検表を活用して、適切な法人運営に努めた。</p>	<p>今後も新会計基準に基づいた会計及び財務管理等の適切な管理体制に努めたい。</p>

イ 新規事業等の活用

事業報告	評 価
<p>新規事業等については、山口県社会福祉協議会補助事業等の情報収集に努め、新型コロナウイルス感染症対策のための経費として web 会議推進支援と緊急小口資金等特例貸付事務費等において活用し、充実を図った。</p>	<p>今後も県社協補助事業等を情報収集し活用できる事業については積極的に取り組むとともに事業費も確保したい。</p>

ウ 効果的な事業の実施

事業報告	評 価
<p>事業を実施する上において、事業の充実や発展を図ることを目指して事業に取り組み、次年度に向けて効果的な事業展開ができるよう事業評価を意識して事業を実施した。</p>	<p>引き続き事業実施状況を把握し、効果的な事業の実施に努めたい。</p>

③ 人事管理の適正化

ア 職員待遇の見直し

事業報告	評 価
<p>働き方改革関連法に対応した賃金制度の確立を図るため、嘱託職員等の均衡待遇に向けた諸手当の支給等について検討し、嘱託職員等の給与を見直した。これに伴い、諸規程の制定及び改正を行った。</p>	<p>今後も雇用形態にかかわらず公正な待遇の確保に努めたい。</p>

イ 労務管理の適正化

事業報告	評 価
<p>改正労働法の遵守や働き方改革推進のため、ノー残業デーの実施、年次有給休暇の取得促進、ハラスメント防止の強化等を図り、安心して働ける職場環境づくりに取り組んだ。 また、人事評価制度と自己申告制度については少人数組織に導入した場合に適正に反映できるかについて引き続き検討を重ねた。</p>	<p>今後も職員の働きやすい環境に配慮していくため、労務管理の適正化に努めたい。</p>

ウ 職員の育成

事業報告	評 価
<p>令和2年 8月18日・19日 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（初任者コース）</p>	<p>法人運営事業に関する研修等を計画に基づき実施し</p>

<p style="text-align: right;">山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年 9月28日・29日</p> <p style="text-align: center;">福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程（中堅職員コース）</p> <p style="text-align: right;">山口市 参加人員 1人</p>	た。
--	----

④ 表彰等に関する事業

事業報告	評 価
<p>永年にわたり社会福祉の発展に貢献された方及び団体を推薦し、表彰を行った。</p> <p>ア 令和2年度防府市社会福祉協議会長表彰式 令和2年 9月 9日 防府市文化福祉会館 参加人員 11人 防府市社会福祉協議会会長表彰 ・社会福祉事業一般功労者 19人 ・社会福祉事業協助者 2人、協助団体 2団体</p> <p>イ 第70回山口県総合社会福祉大会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 山口県知事表彰 ・社会福祉事業功労者 4人 山口県社会福祉協議会長表彰 ・社会福祉事業功労者 10人 山口県共同募金会会長表彰 ・共同募金運動奉仕従事者 7人 山口県民生委員児童委員協議会会長表彰 2人</p>	<p>今後も多年にわたり社会福祉事業に功績のあった方々を表彰し、敬意と感謝の意を表したい。</p>

(3) 社会福祉援助技術現場実習の受入

事業報告	評 価
<p>社会福祉士受験資格の取得を目指す学生の実習を受け入れた。</p> <p>山口県立大学 令和2年 8月17日～ 9月 4日（15日間）※土・日を除く 受入人員 3人</p>	<p>社会福祉事業者としての責務である後進の育成に努めた。</p>

(4) 福祉センター運営事業

防府市社会福祉協議会事務局のある防府福祉センターを福祉活動の拠点として、会場及び福祉用具等の貸し出しを行い、利用者の便宜を図った。

① 福祉センターの利用促進

事業報告	評 価
<p>ア 福祉センター貸館による福祉団体・ボランティア活動の場の提供 防府福祉センター利用状況（年間）</p> <p>1, 052件【 1, 603件】 9, 640人【 21, 716人】</p> <p>[内訳]</p> <p>第1相談室（1階16号室） 266件【 286件】 269人【 283人】</p> <p>第1教養娯楽室（2階17号室） 116件【 90件】 1, 768人【 2, 425人】</p> <p>第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室） 0件【 275件】 0人【 637人】</p> <p>第2研修室（2階18号室） 71件【 139件】 584人【 2, 316人】</p> <p>福祉団体・ボランティア団体室（3階7号室） 177件【 330件】 940人【 5, 499人】</p> <p>第3研修室（3階8号室） 162件【 232件】 1, 289人【 3, 897人】</p> <p>会議室（3階9号室） 260件【 251件】 4, 790人【 6, 659人】</p>	<p>福祉団体・ボランティア団体等への利用促進を図った。新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議室等の利用定員を通常より少なくしたため、利用が大幅に減った。</p> <p>今後も福祉センターの部屋の有効活用に努めたい。</p>
<p>イ 福祉センター憩いの場（老人趣味サークル及び囲碁・将棋）の提供</p> <p>㊦ 老人趣味サークル 囲碁、シルバー社交ダンスクラブ</p> <p>㊧ 囲碁、将棋コーナー 第2・第3教養娯楽室（2階14号室・15号室） 毎週月～土曜日の午後 囲碁・将棋 利用日数 0日【275日】</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、両サークルともやむを得ず中止となった。</p> <p>再開できることを心待ちにされていることから、今後も高齢者の生きがいをづくりと交流も深まるよう努め</p>

利用人数 0人【637人】	ていきたい。
---------------	--------

② 福祉機器の貸出

事業報告	評価
<p>車いす、松葉杖、杖及び器材貸出事業 貸出件数 357件【580件】 〔内訳〕 車いす（250件）、松葉杖・杖（37件）、高齢者擬似体験セット（3件）、アイマスク（9件）、点字器（8件）、白杖（2件）、テント（7件）、テント重り（8件）、リボン（2件）、視覚障害者用バレーボール（2件）、冷凍庫（1件）、表彰盆（3件）、パーテーション（8件）、パーテーション脚（16件）、紅白幕（1件）</p>	<p>車いすや松葉杖等は在宅における一時的な生活の不便を解消する一助となっている。無料貸し出しではあるが、御礼が寄付金につながっている。今後も利用促進に努めたい。</p>

(5) 苦情解決への対応

① 苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の活用

事業報告	評価
<p>福祉サービスに関する利用者からの苦情に対して適切に対応するため、苦情解決相談窓口を設置して福祉サービス利用満足度と利用者個人の権利を擁護できるようにした。福祉サービス利用者からの苦情受付はなかった。 また、苦情解決第三者委員の任期満了に伴い、新たに委員を3人委嘱した。</p>	<p>福祉サービス利用者に苦情解決窓口及び苦情解決第三者委員の設置を周知したい。</p>

2 善意銀行事業

7,370円

地域福祉活動を推進するため、香典返し、チャリティー及びチャイルドシート等福祉用具の貸し出しに伴う御礼や善意の箱等への市民から心あたたまる寄付金等を善意銀行の財源とし、地域福祉活動推進事業やボランティア育成事業等に活用した。

(1) 善意銀行事業の強化

事業報告	評価
<p>寄付金は予算額に対して決算額は毎年度厳しい状況にあることから、寄付金を確保するための新たな手法として県内外の社会福祉協議会等での取組状況の把握に努めた。</p>	<p>引き続き安定的に寄付金が確保できるよう新たな手法の研究に努めたい。</p>

(2) 善意銀行事業の啓発

事業報告	評 価																											
<p>① 金銭寄付</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">件数及び金額</td> <td style="width: 35%;">264件【</td> <td style="width: 35%;">308件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>3,743,889円【</td> <td>3,922,665円】</td> </tr> <tr> <td colspan="3">〔内訳〕</td> </tr> <tr> <td>香典返し</td> <td>8件【</td> <td>15件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>830,000円【</td> <td>1,020,000円】</td> </tr> <tr> <td>一般寄付</td> <td>166件【</td> <td>223件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>2,362,852円【</td> <td>2,397,489円】</td> </tr> <tr> <td>善意の箱</td> <td>90件【</td> <td>70件】</td> </tr> <tr> <td></td> <td>551,037円【</td> <td>505,176円】</td> </tr> </table> <p>② 物品寄付</p> <p>件数 69件【63件】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>お菓子（13件・41箱）、紙おむつ（24件・57袋） 尿とりパッド（9件・28袋）、おしりふき（2件・8個）、 車いす（3件・3台）、シルバーカー（3件・3台）、チャ イルドシート（3件・9台）、ポータブルトイレ（5件・5 台）うちわ（1件・100本）、ベビーカー（1件・1台）、 紙パンツ用パッド（1件・1袋）、介護シューズ（1件・2 足）、介護用トイレペーパー（1件・15個）、紙おむつカ バー（1件・2袋）、防水シート（1件・2袋）</p>	件数及び金額	264件【	308件】		3,743,889円【	3,922,665円】	〔内訳〕			香典返し	8件【	15件】		830,000円【	1,020,000円】	一般寄付	166件【	223件】		2,362,852円【	2,397,489円】	善意の箱	90件【	70件】		551,037円【	505,176円】	<p>金銭寄付は寄付件数が対前年度比で44件減少したが、寄付金額も減少した。寄付金の主旨をPRするとともに社協の活動や地域福祉活動への理解促進を図り、増額につなげたい。</p> <p>物品寄付は社協だよりの「お譲りします」に掲載し、希望者に譲渡した。今後も有効に活用したい。</p>
件数及び金額	264件【	308件】																										
	3,743,889円【	3,922,665円】																										
〔内訳〕																												
香典返し	8件【	15件】																										
	830,000円【	1,020,000円】																										
一般寄付	166件【	223件】																										
	2,362,852円【	2,397,489円】																										
善意の箱	90件【	70件】																										
	551,037円【	505,176円】																										

(3) 印刷サービスの実施

事業報告	評 価
<p>香典返しの寄付者に対し、寄付行為のお礼はがきを寄付金額に応じて印刷した。</p> <p>① 依頼件数 2件【 5件】</p> <p>② 依頼枚数 110枚【215枚】</p>	<p>お礼はがきの印刷は寄付件数の減少に伴い、対前年度比で3件減少した。今後も利用促進に努めたい。</p>

(4) 善意の箱の設置拡充

事業報告	評 価
<p>市民が気軽に寄付できる環境をつくるとともに自主財源の確保として、現在の協力店へ引き続き協力を依頼した。</p> <p>設置総数 68か所【70か所】</p>	<p>善意の箱の設置箇所は2か所減少した。コロナによる店舗の閉店があったが今後も協力店を開拓したい。</p>

(5) 寄付金による事業の研究

事業報告	評 価
<p>指定寄付等による寄付金の寄付者の意向に応じた事業について、県内外の市社会福祉協議会における指定寄付等による事業の取り組みを研究した。</p>	<p>寄付者の意思が事業に反映されることから、引き続き研究していきたい。</p>

【地域福祉部門】

1 地域福祉活動推進事業

10,721,641 円

「福祉の輪づくり運動（困ったときにお互いが助け合える組織を地域でつくろう）」を基本とした地域福祉活動を推進するため、地域住民の参加と行政や関係団体等の協力を得て推進組織である各地区社会福祉協議会の活動支援並びに組織の充実強化に努めた。

(1) 第三次防府市地域福祉活動計画の策定

事業報告	評価
<p>① 防府市地域福祉推進協議会の開催</p> <p>令和2年 7月31日 防府市文化福祉会館 令和2年10月 2日 防府市文化福祉会館</p> <p>② 防府市地域福祉連絡会議の開催</p> <p>令和2年 7月 6日 防府市役所 参加人員 1人 令和2年10月30日 防府市役所 参加人員 1人</p>	<p>地域住民からの地域福祉課題とその解決方法をまとめて第三次地域福祉活動計画を策定した。</p> <p>今後も市と市社協の協働により、計画の事業内容及び進捗状況を確認しながら取り組む必要がある。</p>

(2) 地区社会福祉協議会の支援

① 地区社会福祉協議会研修会の支援

事業報告	評価
<p>地域福祉活動計画を活用して地区社会福祉協議会活動（地区社会福祉協議会研修会）を支援した。</p> <p>令和2年 6月 右田地区社会福祉協議会 135人【 92人】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布</p> <p>令和2年 8月 4日 野島地区社会福祉協議会 野島漁村センター 参加人員 10人【 30人】</p> <p>令和2年10月 5日 牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館 参加人員 70人【120人】</p> <p>令和2年10月10日 小野地区社会福祉協議会 小野公民館 参加人員 25人【 60人】</p> <p>令和2年11月 9日 勝間地区社会福祉協議会 勝間公民館 参加人員 25人【 27人】</p> <p>令和2年12月18日 佐波地区社会福祉協議会 佐波公民館 参加人員 45人【 62人】</p> <p>令和3年 2月25日 向島地区社会福祉協議会 向島公民館 参加人員 50人【 50人】</p> <p>令和3年 3月 8日 富海地区社会福祉協議会 富海公民館 参加人員 20人【 60人】</p>	<p>地区社協の研修内容について相談に応じ、開催を支援した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、短時間・少人数で工夫して研修会を開催したり、やむを得ず中止する地区もあった。</p>

② 地区社会福祉協議会会長会議等の開催

事業報告	評 価
<p>防府市社会福祉協議会と地区社会福祉協議会の連携強化を図るため、定期的に地区社会福祉協議会会長会議及び情報交換会を開催した。</p> <p>市高齢福祉課の75歳以上の防府市民へのお花の贈呈について、地区社会福祉協議会会長へ情報提供した。</p> <p>令和2年 4月30日（第1回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度事業計画・予算について ・令和2年度地域福祉系の事業について ・令和2年度市社協会費のお願いについて ・令和2年度地区社協への助成金等について <p>令和2年 5月29日（臨時）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会事業について ・介護転倒予防教室について <p>令和2年 8月20日（第2回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度市社協の事業について ・市公会堂見学 <p>令和2年12月16日（第3回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・敬老会事業について ・令和2年度市社協理事会の報告について ・令和2年度市社協事業の報告について <p>令和3年 3月 1日（第4回）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・令和2年度市社協事業の報告について ・令和3年度市社協会費について 	<p>地区社協会会長会議を定期的に開催することで、市社協と地区社協の連携を深めた。</p> <p>今後も定期的に開催するとともに、県内で実施されている福祉の輪づくり運動の取り組み等の情報提供に努めたい。</p>

③ 福祉員及び友愛訪問グループ員活動（友愛訪問活動促進事業）の支援

事業報告	評 価
<p>地区内の福祉問題を把握して関係者への連絡や協力を促していく福祉員の活動及び在宅ひとり暮らし高齢者への見守りや訪問をする友愛訪問グループ員の活動を支援した。</p> <p>ア 福祉員 289人【290人】</p>	<p>個別相談等とおして活動目的や内容の周知に努め、これまでの見守り活動等が継続されるよう支援を行った。</p>

イ 友愛訪問グループ員	288グループ(700人) 【288グループ(700人)】	
ウ 在宅ひとり暮らし高齢者	5,212人【5,211人】	

(3) 小地域福祉活動の強化

① 地域見守り・支え合い体制強化事業の実施

事業報告	評価
<p>ア 生活関連事業者や関係団体、住民と連携した見守り活動の仕組みづくりの支援 在宅ひとり暮らし高齢者等が、住み慣れた地域で安心して生活できるよう民間事業者及び福祉専門職等が連携した取り組みを行った。</p> <p>イ 医療・福祉との連携による見守り困難事例への体制づくりの支援 高齢者虐待防止ネットワーク（関係団体相互の情報交換、連携協力、高齢者虐待の予防、早期発見、早期対応及び再発防止）に参加した。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面会議</p> <p>ウ 見守り活動等の担い手研修会の開催 現在の子どもを取り巻く環境を把握し、地域で行われている支援を把握することで、より具体的な活動につなげることを目的にセミナーを開催した。 令和3年 1月27日 ルルサス防府 参加人員 46人【130人】</p> <p>[内容] 講演Ⅰ「防府市内のこども（地域）食堂の支援」 講師 防府市社会福祉協議会 地域福祉係長 上田 竜資 講演Ⅱ「地域のつながり こども（地域）食堂」 ～こども食堂「ひだまり」の活動について～ 講師 こども食堂“ひだまり” 理事 大形 茂道 氏</p>	<p>実際に地域で起きている事例について共に考え、誰もが住み慣れた地域で暮らせるよう、意見を出し合う会議を開催することができた。小地域福祉活動の継続的な支援が必要である。 各圏域の地域ケア会議や個別ケア会議に参加し、事業がケアマネージャー等の専門職や介護保険サービス事業所へも認知されつつある。</p>

② ふれあい・いきいきサロンの設置及び活動支援

事業報告	評 価
<p>ア ふれあい・いきいきサロン設置総数 124か所【123か所】</p> <p>イ 活動支援と連絡調整 地域住民グループ支援事業により「ふれあい・いきいきサロン」の活動支援と連絡調整を行った。</p> <p>ウ ふれあい・いきいきサロンへの職員派遣 124か所中2サロン【123か所中13サロン】</p> <p>エ ふれあい・いきいきサロンへの講師派遣 派遣なし【41件 参加人員 880人】</p> <p>オ ふれあい・いきいきサロンへのグッズ貸出 貸出なし【170件】</p> <p>カ ふれあい・いきいきサロンのスタート講習会の開催 「ふれあい・いきいきサロン」を今後開設する予定のある方、または関わっている方を対象にサロンをより広く地域に普及させていくために講習会を開催した。 令和3年 2月17日 防府市文化福祉会館 参加人員 35人【89人】 〔内容〕 説明「ふれあい・いきいきサロン」ってなあに？ 講師 防府市社会福祉協議会 地域福祉係 係長 上田 竜資 講話「感染症について知ろう」 講師 山口県山口健康福祉センター防府支所 地域保健課地域保健班 主査 河崎 明美 氏</p> <p>キ ふれあい・いきいきサロンの個別相談 190件（コロナ関連 166件）</p>	<p>福祉の輪づくり運動の一環として、ふれあい・いきいきサロンの活動を支援した。参加者は主に高齢者のため、児童、子育て中の人や障害を持つ人の参加できる場となるよう支援が必要である。</p> <p>代表者及び参加者の高齢化により継続支援中のサロン1件が中止となる一方で、既存の居場所のサロン化に努め、学習支援活動と健康体操グループの2件の発足に至った。</p> <p>講師派遣及びグッズ貸出は休止しており、新年度に向けて、再開時期や内容を検討した。</p> <p>講習会では、発足予定の地域以外にも、既存のサロンの再開に向けた新たなスタートも対象とし、新型コロナウイルスの正しい知識やコロナ禍でのサロンの開催方法を周知し、不安感解消に努めた。</p> <p>新型コロナウイルス関連でのサロン開催の中止・延期が相次ぎ、従来の活動が困難な中で、地域の実情や感染拡大の状況に応じた個別相談が増加し、秋以降は再開に向けた相談にも応じた。</p>

③ 在宅ひとり暮らし老人の会の支援

事業報告	評 価
<p>令和2年12月 8日～11日 西浦地区社会福祉協議会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お弁当等配布 自治会ごと 参加人員 146人【117人】</p> <p>令和2年 5月 2日～令和3年 3月27日 華城地区社会福祉協議会 華城公民館ほか 参加人員 各7人程度【85人】</p> <p>令和2年 7月29日 野島地区社会福祉協議会 野島漁村センター 参加人員 10人【20人】</p> <p>令和2年10月14日 富海地区社会福祉協議会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お買物券等配布 富海公民館 参加人員 169人【60人】</p> <p>令和2年12月 9日 中関地区社会福祉協議会 中関公民館 参加人員 34人【51人】</p> <p>令和3年 1月14日 小野地区社会福祉協議会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、マスク等配布 小野公民館 参加人員 160人【40人】</p> <p>令和3年 3月 3日 華浦地区社会福祉協議会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、お弁当等配布 華浦公民館 参加人員 630人【586人】</p>	<p>孤立の防止とつながりの強化を目的としてコロナ禍のため、地区においてはできる範囲で工夫して開催した。さらに高齢化が進むため、今後も継続した支援が必要である。</p>

④ 多世代地域交流拠点としての子ども食堂（地域食堂）の活動支援

事業報告	評 価
<p>ア 幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会の開催 令和2年 4月27日 第1回 令和2年 7月20日 第2回 令和2年 8月26日 発足式 参加人員 44人 令和2年 9月18日 第3回 令和2年12月17日 研修会 演題「子ども食堂における食品衛生管理」 講師 フードバンク山口 山本倫也 氏 座談会 ゲスト 山口県子ども食堂支援センター 柿沼瑞穂 氏 周南ちるちあネット 原田宗隆 氏 令和3年 3月19日 第4回</p> <p>イ 子ども（地域）食堂へのボランティア派遣 令和2年 7月17日～継続 あおぞら食堂 延べ50人</p>	<p>幸せます防府市子ども食堂ネットワーク協議会の事務局として、発足式や研修会、定期的な全体会等を開催した。</p> <p>また、関連情報を取りまとめる窓口として、各関係団体に情報を発信した。</p> <p>高校生ボランティアや個人ボランティアは、コロナのため活動の機会が減少した。人手を必要としている子ども食堂を中心にボランティア支援を行った。</p>

令和2年12月12日	まつぼっくり食堂	10人	ボランティア活動に参加することで、子ども食堂の周知や理解につながった。
令和2年12月26日	さばっこの会	5人	
令和3年1月15日	スマイルホーム	2人	
令和3年1月31日	さばっこの会	5人	
令和3年2月7日	スマイルホーム	1人	
令和3年3月17日	スマイルホーム	1人	
令和3年3月27日	さばっこの会	5人	

(4) 地域福祉力の強化

① 小地域見守りネットワーク活動の支援

事業報告	評価
<p>民政委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員及び自治会福祉部関係者等と連携しながら、在宅ひとり暮らし高齢者等を対象とした小地域での見守り活動及び訪問活動を支援した。</p> <p>ア 在宅ひとり暮らし高齢者 5, 212人【5, 211人】</p> <p>イ 地域福祉（福祉の輪づくり運動）推進セミナーの開催 現在の子どもを取り巻く環境を把握し、地域で行われている支援を把握することで、より具体的な活動につなげることを目的にセミナーを開催した。 令和3年 1月27日 ルルサス防府 参加人員 46人【130人】</p> <p>〔内容〕 講演Ⅰ「防府市内のこども（地域）食堂の支援」 講師 防府市社会福祉協議会 地域福祉係 係長 上田 竜資 講演Ⅱ「地域のつながり こども（地域）食堂」 ～こども食堂「ひだまり」の活動について～ 講師 こども食堂“ひだまり” 理事 大形 茂道 氏</p> <p>ウ 見守りネットワーク連絡会議への出席 令和2年 5月26日 山口市 参加予定 1人 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	<p>地域福祉推進セミナーでは、こども食堂について支援内容や市内の現状、実際の活動を伝え、今後の活動を検討されている参加者へつなぐことができた。</p> <p>感染症対策を行い、参加人数を制限した上での開催となったが、会場40人とWeb6人の参加があった。</p>

(5) 地域の社会福祉法人・社会福祉施設等との連携・協働

事業報告	評 価
<p>社会福祉法人の地域における公益的な取組については、情報交換等の場として防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会の設立に向けて13法人の参画による設立準備会において協議を重ね、設立総会を開催して設立が承認された。</p> <p>① 設立準備会 令和2年12月21日 防府市文化福祉会館 参加人員 14人 令和3年 1月18日 防府市文化福祉会館 参加人員 9人</p> <p>② 設立総会 令和3年 3月 5日 防府市文化福祉会館 参加人員 12人</p>	<p>今後は防府市社会福祉法人地域公益活動推進協議会における具体的な活動を支援するとともに、未加入の法人には協議会への参加を働きかけていきたい。</p>

(6) 福祉専門職コミュニティソーシャルワーカー（CSW）の配置

事業報告	評 価																														
<p>制度の狭間や複数の福祉課題を抱えるなど、既存の福祉サービスだけでは対応困難な事案の解決に取り組むコミュニティソーシャルワーカーを配置した。</p> <p>① 配置人数 2人</p> <p>② CSW活動状況</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: center;">相 談 分 類</th> <th style="text-align: center;">件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>介護保険・高齢サービスに関すること</td> <td style="text-align: center;">2件【 5件】</td> </tr> <tr> <td>障害者総合支援・障害サービスに関すること</td> <td style="text-align: center;">2件【10件】</td> </tr> <tr> <td>父子・母子世帯に関すること</td> <td style="text-align: center;">2件【 1件】</td> </tr> <tr> <td>子育て・子どもの教育に関すること</td> <td style="text-align: center;">15件【21件】</td> </tr> <tr> <td>地域福祉に関すること</td> <td style="text-align: center;">36件【43件】</td> </tr> <tr> <td>生活保護に関すること</td> <td style="text-align: center;">1件【 0件】</td> </tr> <tr> <td>健康・医療に関すること</td> <td style="text-align: center;">1件【 3件】</td> </tr> <tr> <td>経済的援助に関すること</td> <td style="text-align: center;">5件【 1件】</td> </tr> <tr> <td>就労に関すること</td> <td style="text-align: center;">0件【 0件】</td> </tr> <tr> <td>身の回りの世話に関すること</td> <td style="text-align: center;">9件【 4件】</td> </tr> <tr> <td>家族関係</td> <td style="text-align: center;">2件【 3件】</td> </tr> <tr> <td>福祉制度等に関する連絡調整</td> <td style="text-align: center;">4件【 1件】</td> </tr> <tr> <td>高齢者、障害者、児童に関する行事等</td> <td style="text-align: center;">10件【 2件】</td> </tr> <tr> <td>社会資源等に関する連絡調整</td> <td style="text-align: center;">34件【 7件】</td> </tr> </tbody> </table>	相 談 分 類	件 数	介護保険・高齢サービスに関すること	2件【 5件】	障害者総合支援・障害サービスに関すること	2件【10件】	父子・母子世帯に関すること	2件【 1件】	子育て・子どもの教育に関すること	15件【21件】	地域福祉に関すること	36件【43件】	生活保護に関すること	1件【 0件】	健康・医療に関すること	1件【 3件】	経済的援助に関すること	5件【 1件】	就労に関すること	0件【 0件】	身の回りの世話に関すること	9件【 4件】	家族関係	2件【 3件】	福祉制度等に関する連絡調整	4件【 1件】	高齢者、障害者、児童に関する行事等	10件【 2件】	社会資源等に関する連絡調整	34件【 7件】	<p>地域住民の困りごとを早期に発見し、専門機関や住民活動による支援に結びつくよう調整を行った。</p> <p>相談件数は、対前年度比で2倍以上の件数があり、コロナ禍における取り組みの相談が多く寄せられた。</p>
相 談 分 類	件 数																														
介護保険・高齢サービスに関すること	2件【 5件】																														
障害者総合支援・障害サービスに関すること	2件【10件】																														
父子・母子世帯に関すること	2件【 1件】																														
子育て・子どもの教育に関すること	15件【21件】																														
地域福祉に関すること	36件【43件】																														
生活保護に関すること	1件【 0件】																														
健康・医療に関すること	1件【 3件】																														
経済的援助に関すること	5件【 1件】																														
就労に関すること	0件【 0件】																														
身の回りの世話に関すること	9件【 4件】																														
家族関係	2件【 3件】																														
福祉制度等に関する連絡調整	4件【 1件】																														
高齢者、障害者、児童に関する行事等	10件【 2件】																														
社会資源等に関する連絡調整	34件【 7件】																														

地域の会議、サロン訪問等	167件【48件】	
機関・組織開催の会議、研修、行事等	3件【1件】	
その他研修会、視察等	2件【1件】	
講師派遣	0件【1件】	
その他（ボランティア）	48件【8件】	
合 計	343件【160件】	
※相談分類は複数の項目に重複している場合、各項目にカウント		

(7) 地域福祉関係の研修

事業報告	評 価
<p>令和2年 5月26日 188見守りネットワーク連携会議 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年 7月 9日 新型コロナウイルスに関する地域福祉活動への各社協の支援・対応に関する情報交換のためのWeb会議 Web 参加人員 3人</p> <p>令和2年 8月19日 関係機関・団体と進める！総合事業推進会議 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年 8月25日 現任民生委員・児童委員研修会 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年 9月10日 手話言語の習得に向けた支援体制構築のための作業部会（第1回） 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年10月 5日 全国福祉教育推進員フォローアップセミナー（コロナ禍における新たな福祉教育を考える第1回WEBセミナー） Web 参加人員 2人</p> <p>令和2年10月22日 市町社協地域福祉・ボランティア担当者会議（第1回） 山口市 参加人員 2人</p> <p>令和2年11月11日 コロナに負けず「人生100年」を幸せに生きる～からだ・あたま・こころいきいき！～ Web 参加人員 1人</p> <p>令和2年12月 2日 ふれあいいきいきミーティング 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年12月 3日 ボランティアリーダー研修 Web 参加人員 1人</p>	<p>地域福祉事業に関する研修等に積極的に参加し、業務につながる自己研鑽に努めた。</p>

令和2年12月 7日 ひきこもり支援研修 山口市 参加人員 2人	
令和3年 1月15日 ひきこもり実務者研修 山口市 参加人員 2人	
令和3年 1月21日 手話言語の習得に向けた支援体制構築のための作業部会(第2回) Web 参加人員 1人	
令和3年 2月18日 市町民生委員児童委員協議会 事務局連絡会議 Web 参加人員 2人	
令和3年 2月24日 全国福祉教育推進員フォローアップセミナー(コロナ禍における 新たな福祉教育を考える第2回Webセミナー) Web 参加人員 2人	
令和3年 3月 9日 市町社協地域福祉・ボランティア担当者会議(第2回) Web 参加人員 1人	
令和3年 3月10日 手話言語の習得に向けた支援体制構築のための作業部会(第3回) Web 参加人員 1人	
令和3年 3月26日 地域生活課題の解決と地域づくりに向けたソーシャルワーク研修 Web 参加人員 2人	

(8) 防府市民生委員・児童委員協議会との連携及び支援

事業報告	評価
<p>① 民生委員・児童委員及び地区民生委員児童委員協議会活動への協力・支援 防府市民生委員・児童委員協議会及び各地区民生委員児童委員協議会定例会等を支援した。</p> <p>延36回 参加人員712人 【延14回 参加人員418人】</p>	<p>民生・児童委員や地区民児協会長から相談、問合せができる体制を整えたことにより、委員活動、地区民児協活動を促進することができた。</p>
<p>② ふれあいネットワークづくり運動に対する支援 ア 令和元年度ふれあいのネットワークづくり運動(取組結果)</p> <p>㊦ ネットワークづくりを実施した民生委員・児童委員 89人【103人】</p> <p>㊧ ネットワークづくりを実施した対象者 240人【289人】</p>	<p>民生・児童委員を中心にふれあいのネットワークづくり運動を進め、支援を必要とする人を支えるネットワークが形成された。今後の社会情勢を鑑み、地区社</p>

<p>【属性別内訳】</p> <p>A ひとり暮らし高齢者・75歳以上の二人暮らし 223人【265人】</p> <p>B 寝たきり高齢者・障害者・認知症 40人【56人】</p> <p>C ひとり親・児童 2人【4人】</p> <p>D 生活困難者 16人【22人】</p> <p>E その他 8人【18人】</p> <p>イ 令和2年度ふれあいのネットワークづくり運動（取組計画）</p> <p>⑦ ネットワークづくりを計画した民生委員・児童委員 90人【99人】</p> <p>⑧ ネットワークづくりを計画した対象者 242人（うち新規 61人） 【265人（うち新規 50人）】</p> <p>【属性別内訳】</p> <p>A ひとり暮らし高齢者・75歳以上の二人暮らし 210人【237人】</p> <p>B 寝たきり高齢者・障害者・認知症 44人【49人】</p> <p>C ひとり親・児童 3人【2人】</p> <p>D 生活困難者 18人【20人】</p> <p>E その他 17人【9人】</p> <p>③ 全国民生委員互助共励事業の実施 互助事業は、会員の死亡、疾病、災害にかかる弔慰金及び見舞金に関する受付及び申請をした。</p>	<p>協との連携が求められる。</p>
--	---------------------

(9) 防府市自治会連合会との連携及び自治会福祉部の支援

事業報告	評価
<p>地区社会福祉協議会が開催する福祉関係者合同研修会等（地区社協役員、福祉員、友愛訪問グループ員、民生委員・児童委員、自治会長、自治会福祉部長、自治会役員、老人クラブ、ボランティア）で福祉サービス情報や活動事例を説明し、情報提供と連携を図れるよう支援した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、地区で実施される自治会福祉部長研修会は中止となった。</p>	<p>地域の福祉行事の際、単位自治会長や福祉部長の支援により活動を円滑に推進できるので、今後も協働できる体制づくりに努めたい。</p>

(10) 防府市社会福祉施設連絡協議会との連携

事業報告	評 価
<p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、定例会等は開催されなかった。</p>	<p>今後も定例会等での情報交換や加入施設と連携を図っていく必要がある。</p>

2 老人福祉事業

25,050,936 円

高齢者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 老人寝具乾燥事業</p> <p>在宅寝たきり高齢者及びひとり暮らし高齢者等（いずれも低所得世帯を対象）が日常生活に使用する布団、毛布等の寝具乾燥を実施し、保健衛生の向上に努めた。</p> <p>ア 実施期間 令和2年 7月 1日～令和3年 3月31日</p> <p>イ 実施世帯 245世帯【350世帯】</p> <p>ウ 実施枚数 470枚 【631枚】</p> <p>〔内訳〕</p> <p>敷布団 147枚【181枚】</p> <p>掛布団 167枚【232枚】</p> <p>毛布 156枚【218枚】</p> <p>② 老人スポーツ普及事業</p> <p>第48回防府市いきいきシルバーふれあいスポーツ大会の開催</p> <p>令和2年9月17日 防府市スポーツセンター運動広場</p> <p>参加人員 一人【1,000人】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>③ 三世代交流事業</p> <p>14地区老人クラブ連合会及び1地区社会福祉協議会へ三世代交流活動費を助成し活動を支援した。</p> <p>参加人員 1,835人【11,270人】</p>	<p>民生・児童委員の協力を得て、対象となる世帯に寝具の洗濯・乾燥を行うことで衛生状態の向上に加え、見守り活動や実態把握の一助となった。新型コロナウイルス感染症の影響により時期を遅らせての実施となった。地域包括支援センターやケアマネージャー等にも取り組みが浸透し、地域の見守り体制や活動の促進へとつながった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症の影響により、外出や交流を控える状況が続いたことを踏まえ、感染症収束後は健康増進と交流を図り、健康づくりや生きがいがづくりにつなげていきたい。</p> <p>高齢者が中心となって様々な遊びをとおして、高齢者の経験や技術を子や孫に伝承し、世代間の交流を深めるとともに高齢者の生</p>

<p>④ 幸せます大学（老人大学校）設置運営事業</p> <p>高齢者及び向老期の方々に対し、体系的な学習の機会を提供することにより、社会経済の変化への適合と生きがいのある豊かな老後を創造することを目的に開講した。</p> <p>第20期幸せます大学（前期）</p> <p>令和2年10月～令和3年 3月（9回）</p> <p>※令和2年5月～9月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>防府市文化福祉会館等 参加延人員 232人【206人】</p> <p>⑤ 総合社会福祉大会事業</p> <p>第38回防府市総合社会福祉大会</p> <p>令和2年 9月 5日 防府市公会堂</p> <p>参加人員 一人【450人】</p> <p>※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>・運営委員会の開催</p> <p>令和2年 6月24日 防府市文化福祉会館</p> <p>⑥ 地域住民グループ支援事業</p> <p>地域住民の自主的な活動として各地区で実施されている「ふれあい・いきいきサロン等」に健康運動指導士・歯科衛生士・管理栄養士を紹介・派遣しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、派遣することができなかった。</p> <p>⑦ 介護転倒予防事業</p> <p>ひとり暮らし高齢者、要援護高齢者及び高齢者世帯に対し、要介護状態にならないように介護予防のための転倒骨折予防教室等を開催した。</p> <p>令和2年 6月17日 野島地区社会福祉協議会</p>	<p>きがいを高めた。新型コロナウイルス感染症予防対策のため開催の中止や人数制限され開催回数と参加人数が大幅に減少した。</p> <p>2年間の講座の前期にあたり、健康を重視した講座を重点的に行った。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開講時期を遅らせ、感染症対策に努めながら月に1～2回、計9回の開催とした。</p> <p>大会開催の際は記念講演の内容を工夫し、参加人数の増加に努めていきたい。</p> <p>高齢者等に対し一層の介護予防が図れるよう地域住民の自主的グループの活動支援と連絡調整を行った。年度当初の新型コロナウイルス感染症拡大により、派遣は見合わせとなった。11月からは市内施設利用基準の緩和に伴い、県社協のガイドラインを基に感染症対策を行う場合は受け付けたが、派遣には至らなかった。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、実施は全地区の1／3であった。健康づくりと高齢者の生き</p>
--	--

<p>野島漁村センター 参加人員 15人【30人】 令和2年 10月24日、11月7日、11月21日、12月12日、令和3年1月23日</p> <p>華城地区社会福祉協議会 華城老人憩の家ほか 参加人員 各回5～11人【各回15～30人】 令和3年 1月13日 中関地区社会福祉協議会 中関公民館 参加人員 31人【61人】 令和3年 1月23日 小野地区社会福祉協議会 小野公民館 参加人員 25人【67人】 令和3年 3月 3日 松崎地区社会福祉協議会 松崎公民館 参加人員 670人【-人】 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布</p>	<p>がいや自立生活の助長、また閉じこもりの予防を行うとともに、対象者同士や地域福祉の担い手が交流も深めることができました。</p>
--	--

(2) 防府市からの補助事業の推進

事業報告	評価
<p>① 敬老の日記念行事等助成事業 ア 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成 全地区において、新型コロナウイルス感染症の影響で集まる形の敬老会（式典等）を中止して単位自治会での実施となった。各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、祝金や商品券、記念品を対象者宅に届けるため助成した。</p> <p>イ 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成 市内5か所の特別養護老人ホーム、1か所の有料老人ホームで実施される敬老の日等記念行事に対して助成した。</p>	<p>敬老の日記念行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。75歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老の日記念行事等の運営について支援した。</p>

(3) 高齢者福祉の推進

事業報告	評価
<p>① 地域包括ケアシステムの構築に向けての支援 はあとふるねっと会議及び高齢者生活支援協議会は書面による会議開催となった。</p> <p>② 認知症高齢者の支援 認知症サポーターチームオレンジ検討会 令和2年10月26日 防府市文化福祉会館 参加人員 6人</p>	<p>認知症高齢者の居場所づくりや、地域住民や関係者への理解を深める機会となった。</p>

3 障害者福祉事業

31,878 円

障害者の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 防府市からの受託事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 障害者スポーツ交流支援事業</p> <p>ア 第20回山口県キラリンピックへ参加 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>イ 第58回防府市障害者体育大会の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>② 障害者レクリエーション推進事業</p> <p>在宅知的障害者（児）とその家族を対象に、「みかん狩り」を実施し、社会参加及び家族間の交流を図る予定であった。 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>③ 障害者地域参加促進事業</p> <p>ア 視覚障害者の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レクリエーション（みかん狩り）の開催予定 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 <p>イ 聴覚障害者の部</p> <ul style="list-style-type: none"> ・工場見学の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 	<p>令和元年度に参加者のニーズに合わせてプログラム内容を変更したことにより、多くの参加者があった。変更後プログラム2年目であったが、コロナ禍で中止した。</p> <p>レクリエーションをとおして、日常で体験できないことを経験する機会を提供するとともに、在宅の知的障害者・児とその家族が交流を深め、積極的な社会参加を行う場を提供するために企画したが、コロナ禍で中止した。</p> <p>聴覚障害者や視覚障害者を対象に社会生活や家庭生活に対する学習の機会を提供するとともに、日常で体験できないことを経験する機会を提供することにより、教養を高め、日常生活の向上とコミュニケーションを深めるために社会参加を促進するために企画したが、コロナ禍で中止した。</p>

(2) 防府市障害福祉団体連合会及び障害者福祉団体活動の支援

事業報告	評 価
<p>① 防府市障害福祉団体連合会理事会への出席 令和3年 3月30日 防府市身体障害者福祉センター 参加人員 1人</p> <p>② 障害者福祉団体活動の支援 ア 防府市ふうせんバレーボール大会への参加 令和2年 6月中旬 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ソルトアリーナ防府 予定人員 2人</p> <p>イ 防府市障害者親睦卓球大会への参加 令和3年 3月上旬 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 ソルトアリーナ防府 予定人員 2人</p>	<p>障福連行事の運営補佐をすることで、円滑な進行を助け、会員の交流や社会参加を支援する予定であったが、コロナ禍で中止となった。</p>

(3) 難病対策の支援

事業報告	評 価
<p>令和3年 3月下旬 山口・防府難病対策地域協議会支援者会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 山口市 予定人員 1人</p>	<p>今後も関係機関のそれぞれの取り組みや当事者の意見を留意していきたい。</p>

(4) 精神保健に関する事業の支援

事業報告	評 価
<p>防府地域精神保健研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	

(5) 防府市地域総合支援協議会の支援

事業報告	評 価
<p>① 協議会への出席 令和2年10月 8日 (第1回) 防府市保健センター 参加人員 1人</p>	<p>相談支援事業をはじめ、困難事例等への対応や障害者福祉長期計画等の策定に</p>

<p>令和2年11月12日(第2回) 防府市保健センター 参加人員 1人</p> <p>令和3年 2月18日(第3回) 防府市保健センター 参加人員 1人</p> <p>② 研修部会への出席 令和3年 2月19日 Web研修 参加人員 1人</p> <p>③ 研修部会企画会議への出席 参加人員 1人</p>	<p>ついて協議した。</p> <p>事例検討や研修会をとおして障害者支援へのスキルアップに努めた。</p> <p>研修部会を企画運営することでスキルアップや関係機関との連携に努めた。</p>
--	--

4 児童福祉事業

583,332円

児童の福祉増進のために、次の事業を実施した。

(1) 「赤ちゃん文庫」事業の推進

事業報告	評価
<p>赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て産後2～3か月児の家庭訪問に際して、絵本を2冊ずつ贈呈した。</p> <p>新型コロナウイルスの感染症拡大により、5月から母子保健推進員の訪問を休止し、保健センターで保健師からの手渡しへ変更となったが、9月から事前に電話で了解を得た上で訪問・絵本の贈呈を再開した。</p> <p>また、コロナ禍で里帰り時期の延長等のため、訪問時期を産後2か月から3か月に変更して実施した。</p> <p>人数 799人【867人】</p>	<p>子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながっている。</p> <p>子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のための関係機関との連携につながっている。</p> <p>今後、視覚障害のある方や外国語を母語とする方への配慮が求められる。</p>

(2) チャイルドシート貸出事業の推進

事業報告	評価
<p>里帰り等で6歳未満の幼児を乗せて自動車を運転する必要がある場合に、1か月を限度に貸し出した。</p> <p>① 利用人数 124人【334人】</p>	<p>ホームページ等での周知もあるが、新型コロナウイルス感染症により利用者が減った。無料貸し出しでは</p>

② 貸出回数 1 4 4回【3 7 5回】 ベビー用 1 6回【 2 8回】 乳幼児用 1 1 7回【3 3 5回】 学童用 1 1回【 1 2回】	あるが、福祉活動への寄付金につながっている。今後も利用促進に努めたい。
---	-------------------------------------

(3) 小地域見守りネットワーク活動の推進

事業報告	評価
社会福祉施設、学校、老人クラブ及び地区社会福祉協議会、地区民生委員児童委員協議会との連携につながる活動を支援した。	今後もきめ細かい地域の見守り体制の支援に努めたい。

(4) 子どもの居場所づくりの支援

事業報告	評価
幸せます防府市こども食堂ネットワーク協議会を通して子どもの居場所づくりを支援した。 ① 加入団体数 会員 1 5団体 市内食堂数 1 2食堂 サポーター会員 9団体 ② 子ども食堂関連相談件数 延べ80件	4月に開催した発足式でネットワーク協議会を周知することで、新たに会員2団体とサポーター会員9団体の加入があった。 各子ども食堂がコロナ禍でもお弁当配布に切り替えるなどの工夫をしながら開催し、それをサポートしてくれる会員がいることで地域のつながりとなった。 前年度と比較して子ども食堂についての相談や問い合わせも増加した。

5 ボランティアセンター事業

2,208,092円

市民のボランティア活動に関する理解と関心を深めるとともに、関係機関及び団体に対して福祉教育等の育成支援を行い、福祉の推進に資するために次の事業を実施した。

(1) あらゆる人の社会参加を支援

① ボランティアコーナーの設置

事業報告	評価
週2回ボランティアアドバイザーを配置して、ボランティア及びボ	新型コロナウイルス感染

<p>ランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティア同士が気軽に交流できるように交流の場を提供した。</p> <p>ア 開設曜日・時間 月・金曜日 13:00～16:00</p> <p>イ 開設場所 ボランティアコーナー（2階16号室）</p> <p>ウ 開設日数 44日【63日】</p> <p>エ 延来場者数 200人【360人】</p>	<p>症拡大防止対策によって、ボランティアコーナーを年度途中に開設せざるを得ない状況となった。</p> <p>ボランティア活動の開始や継続の支援を行いつつ、ボランティア同士の交流を促進した。ボランティアコーナーが、ボランティア活動の支援につながっている。今後もボランティアアドバイザーとボランティアコーディネーターが連携し、ボランティアの増加に努めたい。</p>
---	---

② ボランティア相談の受付

事業報告	評価
<p>ボランティアコーディネーターを配置して、ボランティア及びボランティアに関心のある人に対し、情報提供及び相談に応じるとともに、ボランティアを必要とする施設・団体・個人とボランティア団体・個人を結びつけた。</p> <p>相談件数 562件【602件】</p>	<p>誰もが気軽に活動に参加できるようボランティアセンターの機能を強化し、相談体制の充実や情報の提供に努める必要がある。</p>

③ ボランティア研修の開催

事業報告	評価
<p>ア 音訳ボランティア講習会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>イ 要約筆記体験講座 令和2年10月25日・11月8日・22日 防府市文化福祉会館 参加人員 18人【5人】</p> <p>ウ ボランティア入門講座 令和3年 3月18日 防府市文化福祉会館 参加人員 14人【一人】</p>	<p>音訳ボランティア講習会については、新型コロナウイルス感染症拡大により、講座を開催することが困難となったため中止した。</p> <p>要約筆記体験講座については、参加人数の削減と、時間短縮や開催日を分けて開催した。</p>

④ ボランティア団体・個人の活動支援

事業報告	評 価
<p>ア ボランティアセンター登録の実施</p> <p>㊦ ボランティア団体 39団体【40団体】</p> <p>㊧ 個人ボランティア 169人【202人】</p> <p>イ ボランティア活動等保険への加入促進</p> <p>㊦ 加入取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 4,038人【4,389人】</p> <p>ボランティアセンター登録団体及び個人ほか</p> <p>市社協理事及び評議員、民生委員・児童委員（主任児童委員）、福祉員、友愛訪問グループ員</p> <p>ボランティア行事用保険 61件【94件】</p> <p>福祉サービス総合補償 10件【10件】</p> <p>㊧ 事故取扱件数</p> <p>ボランティア活動保険 3件【4件】</p> <p>ボランティア行事用保険 1件【1件】</p> <p>福祉サービス総合補償 1件【1件】</p>	<p>広報紙などでボランティア活動の紹介等を行い、継続的に支援した。個人ボランティアや登録団体の増加を図るため、ボランティアセンター登録のメリットを周知していきたい。</p> <p>保険への加入促進を行うとともに、事故発生時に速やかに手続きを行い、加入者に適切な補償を迅速に行った。</p>

(2) 協働の推進

① 協働情報紙「まなぼら」の発行

事業報告	評 価
<p>ボランティア情報を提供するために防府市生涯学習課、防府市市民活動支援センター及び防府市社会福祉協議会（ボランティアセンター）が協働で作成して、ボランティア及び生涯学習等についての情報を発信した。</p> <p>ア 発行回数 年4回（6月、9月、12月、3月）発行</p> <p>イ 発行部数 2,800部（うち、市社協負担分800部）</p>	<p>活用しやすい情報を市民に提供することができた。</p> <p>市民活動やボランティア活動を活性化していくためには、今後も三機関が協力して発行していくことが必要であり、情報収集を積極的に行っていきたい。</p>

② ボランティア行事への参加協力

事業報告	評 価
<p>防府市生涯学習課が主催する生涯学習フェスティバルの企画・運営等を行う実行委員会及び生涯学習フェスティバルに参加し、協力した。</p> <p>ア 実行委員会 防府市文化福社会館 参加人員 1人 令和2年 9月10日 (第1回) 令和2年10月 8日 (第2回) 令和2年12月10日 (第3回) 令和3年 1月28日 (第4回) 令和3年 3月 4日 (第5回)</p> <p>イ 生涯学習フェスティバル 令和3年 2月28日 防府市文化福社会館 参加人員 1人</p>	<p>市民に身近なフェスティバルの開催に寄与した。市民がフェスティバルに参加することで、ボランティア活動への理解が深まり、ボランティア活動への参加につながるよう更なる啓発に努めたい。</p>

③ 地域における福祉教育の推進

事業報告	評 価
<p>ア 福祉体験学習への支援</p> <p>㊦ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）におけるゲストティーチャーの派遣支援</p> <p>令和2年 7月15日 牟礼南小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験</p> <p>令和2年 7月20日 牟礼南小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験</p> <p>令和2年10月 2日 華城小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験</p> <p>令和2年10月13日 華城小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験</p> <p>令和2年10月28日 牟礼小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験</p> <p>令和2年10月29日 牟礼小学校 点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験</p> <p>令和2年11月 2日 新田小学校 手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験及び手話体験</p>	<p>打ち合わせの段階から地区社協及び地区民児協とともに福祉体験学習の企画立案に取り組んだ結果、学校、地域、社協の意見が集約された体験学習となった。</p> <p>車いす及びアイマスク体験を実施したことにより、地域の方々と学校との関係づくりの強化につながった。</p> <p>また、複数日に分けて実施した学校もあり、体験だけでなく、福祉について詳しく教えることができ理解が深まった。</p> <p>今後も引き続き福祉教育の必要性を周知するとともに、現在要望がない学校へは更なる広報に努めていく必要がある。</p>

令和2年11月12日 新田小学校
手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験
及び手話体験
令和2年11月20日 富海小学校
点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験
令和3年 1月29日 松崎小学校
手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験
及び手話体験
令和3年 3月 2日 勝間小学校
手話ボランティア団体及び聴覚障害福祉会との交流体験
令和3年 3月 9日 松崎小学校
点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験
令和3年 3月15日 勝間小学校
点訳ボランティア団体との交流体験及び点字体験

④ 福祉体験学習（総合的な学習の時間）における職員の派遣

令和2年 6月10日 牟礼南小学校
講話「やさしさ実感」
令和2年 7月 8日 牟礼南小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和2年10月6日・8日・9日 華城小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和2年10月15日・16日 牟礼小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和2年10月29日 新田小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和2年11月26日 玉祖小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和3年 1月26日 松崎小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和3年 2月22日 向島小学校
車いす体験及びアイマスク体験
令和3年 2月19日 西浦小学校
講話「やさしさ実感」
令和3年 2月25日 西浦小学校
車いす体験及びアイマスク体験

イ 防府市青少年ボランティア推進委員会への協力

高校・総合支援学校等の青少年によるボランティア活動に協力
した。

④ 企業等社会貢献活動の推進

事業報告	評 価
<p>ア 企業ボランティアモデル事業所（山口県、山口県社会福祉協議会、山口きらめき財団指定事業）の支援</p> <p>社会貢献活動や従業員の行うボランティア活動への支援などを積極的に行う企業を企業ボランティアモデル事業所として指定しており、ボランティア情報等を提供した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ マツダ株式会社防府工場（平成8年度から指定） ・ 東山口信用金庫（平成11年度から指定） ・ 株式会社丸久（平成15年度から指定） ・ 株式会社ブリヂストン防府工場（平成21年度から指定） ・ 山陽建設工業株式会社（令和元年度から指定） ・ 村田株式会社（令和元年度から指定） ・ イオンリテール株式会社イオン防府店（令和2年度から指定） ・ 株式会社イズミゆめタウン防府店（令和2年度から指定） ・ 澤田建設株式会社（令和2年度から指定） <p>イ 研修会への参加</p> <p>令和2年11月19日 協働の推進ネットワーク会議 山口市 参加人員 2人</p>	<p>企業ボランティアモデル事業所を企業、団体及び市民に周知することで、企業のボランティア活動を促進した。今年度は、新たに3つの企業が指定を受けた。</p> <p>今後も引き続き広報紙等で周知するとともに、連携を図りたい。</p>

⑤ ボランティア推進機関との連携及び活動支援

事業報告	評 価
<p>幅広くボランティア推進機関及びボランティア団体等と連携するとともに活動を支援した。</p> <p>ア 防府市市民活動支援センター、防府市生涯学習ボランティア相談コーナー等との連携</p> <p>イ 特定非営利法人（NPO 法人）との連携及び活動支援</p> <p>ウ 防府ボランティア連絡会との連携及び活動支援</p> <p>㊦ 例 会 原則として毎月第1木曜日 参加人員 1人</p> <p>㊧ 行 事 令和2年11月 5日 防府ボランティアのつどい 防府市文化福祉会館 参加人員 1人</p>	<p>市民活動支援センター、生涯学習ボランティア相談コーナー等と連携し、地域のボランティアやNPO法人からの相談に応じ、活動を支援した。</p> <p>例会、行事及びつどいに参加して連携及び活動支援を行うことで、会員・団体と関係づくりを強化できた。</p>

⑥ 災害ボランティア活動の支援

事業報告	評 価
<p>災害が発生していない平常時から「被災者」と「ボランティア」をつなぐセンター運営のため、基本的な考え方や地域活動状況を確認する災害ボランティアセンター運営スタッフ養成講座を開催した。</p> <p>令和2年 6月29日 防府市文化福祉会館 参加人員 40人 〔内容〕</p> <p>講演Ⅰ「災害時におけるボランティア活動団体等との連携について」 講師 山口県社会福祉協議会 地域福祉部長 大河原 修 氏</p> <p>講演Ⅱ「地域で実施されている災害時における対応について」 講師 西浦地区社会福祉協議会 会長 山崎 元 氏</p> <p>演習「災害ボランティアセンター運営上の課題解決に向けて」 ・受付時の混雑をスマートフォンで回避</p>	<p>災害時の団体との連携や、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための注意を学習できた。</p> <p>また、県内で初めて、災ボラQRを活用し、スマートフォンによる受付を取り入れるなど、運営スタッフと協議を重ねることができた。</p> <p>継続的に研修・演習をすることで、災害が発生した際に迅速なセンター運営ができるよう備えたい。</p>

(3) 組織基盤の強化

① ボランティア団体への助成

事業報告	評 価
<p>防府市における非営利の自主的、主体的なボランティア活動で、特に福祉分野におけるボランティア活動を目的とした団体を支援するとともに、個々の団体に対する支援をとおり、防府市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図ることを目的として助成した。</p> <p>ボランティア活動基本助成 11件【 18件】</p>	<p>新型コロナウイルス感染症の影響から申請団体が減少した。ボランティア団体に対する支援をとおして、市全体におけるボランティア活動の普及と活性化を図るとともに新たな活動を支援していきたい。</p>

② 24時間テレビ「愛は地球を救う」への協力

事業報告	評 価
<p>例年、市内5校の高校生ボランティアが募金活動に従事し、街頭募金を実施して24時間テレビ「愛は地球を救う」に協力をしていたが、新型コロナウイルス感染症対策のため街頭募金を中止とした。</p>	<p>高校生ボランティアの活動の普及と活性化に努めたい。</p>

【生活支援部門】

1 生活支援事業

6,608,362円

地域における相談や援助活動の充実及び住民の参加による各種福祉サービス等の実施に向け、総合的に行った。

(1) 福祉総合相談事業

① 福祉総合相談の開催

事業報告					評 価
1 開催状況					新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、窓口開設日数は少なくなったにもかかわらず、心配ごと相談の相談人数は増加した。 相談区分によっては、相談人数のばらつきが大きい。
相談区分	担 当	開設日数	相談人数	相談件数	
心配ごと相談	相 談 員	210日 【225日】	89人 【56人】	89件 【59件】	
労働・年金相談	社会保険 労 務 士	10日 【12日】	4人 【6人】	4件 【6件】	
住 宅 相 談	建 築 士	10日 【10日】	0人 【4人】	0件 【4件】	
登 記 等 相 談	司 法 書 士	21日 【21日】	63人 【61人】	62件 【72件】	
法 律 相 談	弁 護 士	21日 【23日】	113人 【156人】	111件 【176件】	
合 計		延べ272日 【291日】	269人 【283人】	266件 【317件】	
2 相談業務取扱件数（心配ごと相談、労働・年金相談、住宅相談、登記等相談、法律相談）					
種 別	専門相談員 取扱件数	種 別	専門相談員 取扱件数		
生 計	13【3】	人 権 ・ 法 律	21【30】		
年 金	2【4】	財 産	82【84】		
職 業 ・ 生 業	8【4】	事 故	5【1】		
住 宅	19【26】	児童福祉・母子保健	0【2】		
家 族	25【26】	教育・青少年	1【0】		
結 婚	2【1】	心身障害者福祉	1【1】		
離 婚	27【27】	母子福祉・父子福祉	0【0】		
健 康 ・ 衛 生	2【1】	老 人 福 祉	4【2】		
医 療	0【2】	苦 情	7【3】		
精 神 ・ 衛 生	0【4】	そ の 他	47【96】		
合 計		266【317】			

上記のうち解決したもの	144【164】
継続指導中のもの	10【13】
他機関に紹介・その他	112【140】

② 福祉総合相談窓口の広報啓発活動の推進

事業報告	評価
<p>広報紙「社協だより防府」やホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」に福祉総合相談の内容を掲載し、広く周知を図った。</p>	<p>市民に広く周知することにより、問合せが増加した。</p>

③ 相談員の資質向上

事業報告	評価
<p>コロナ禍のため研修を実施できなかった。</p>	

(2) 有料在宅福祉サービス事業

有料在宅福祉サービス事業は、住民参加型（会員制）による有料の家事援助を中心とした事業です。家事援助等の支援が必要な高齢者世帯や障害者世帯等へ協力会員を派遣し、住み慣れたところで安心して暮らせるための在宅福祉の支援・向上に努めた。

① 利用会員及び協力会員の募集

事業報告	評価
<p>ア 令和2年度活動状況</p> <p>㊦ 登録会員 協会員数 18人【19人】 利用会員数 56人【56人】</p> <p>㊧ 実働会員 協会員数 6人【7人】 利用会員数 37人【36人】</p> <p>㊨ 実稼働延回数及び延時間 実稼働延回数 749回【833回】 延時間 1,247時間【1,377時間】</p> <p>㊩ 支援内容 掃除 491時間55分【521時間25分】 食事の支度 186時間10分【204時間20分】 買物 291時間00分【318時間10分】 洗濯 5時間40分【10時間40分】</p>	<p>利用会員は新規で4人が登録となり、施設入所、産後の体調回復等により4人が退会した。協会員は健康不安で1人が退会している。協会員は登録数に対して稼働可能な人数が少なく需要に対して供給が追いついていない状況は変わっていない。今後更に稼働可能な協会員を増やすことが必要である。実働の利用会員数は増えているが協会員数が減っているため、実稼働延回数及び延時間は</p>

<p>話し相手 41時間15分【72時間50分】 介助 55時間00分【49時間15分】 その他 176時間00分【200時間20分】</p> <p>イ 募集状況 広報紙「社協だより防府」で会員を募集し、利用会員4人の新規登録があったが、協力会員の新規登録はなかった。</p>	<p>前年度と同様に減少している。</p>
---	-----------------------

② 協力会員研修会等の開催

事業報告	評価
<p>協力会員の資質向上のため研修を行う予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、開催を中止した。</p>	<p>今後も研修内容を工夫し、支援に役立つ研修会を開催したい。</p>

③ 広報啓発活動の実施

事業報告	評価
<p>広報紙「社協だより防府」やホームページ「“元気”を支えるあたたかい福祉のまちづくり」に事業内容を掲載し、広く周知を図った。</p>	<p>市民に広く周知することにより、本人、家族、その関係者から年間約20件の問合せがあり、会員登録につながっている。</p> <p>ケアマネージャー等にも事業内容や趣旨理解を図るとともに連携することで、ニーズに合ったサービスを提供できるように引き続き努めたい。</p>

(3) ふれあいネットワーク事業

① 在宅介護者の集いの開催

事業報告	評価
<p>在宅で要介護1～要介護5の認定を受けた高齢者や認知症の高齢者を介護している家族に対し、心身のリフレッシュの機会を提供するとともに、同じ悩みや体験をもつ者同士が交流を深め、当事者組織の活性化を図ることを目的に開催しているが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。</p>	<p>高齢福祉課と調整し、コロナ禍での開催も視野に入れ、予算削減を含めた全面的な事業の見直しを行った。</p>

(4) 福祉車両貸出事業

① 福祉車両（車いす同乗車）貸出事業の推進

事業報告	評価
<p>車いす利用者等の人々が日常生活を営むうえで、生活圏域の拡大や自立と社会参加の促進を図るために必要な手段として、福祉車両の貸し出しを行った。</p> <p>ア 貸出車両 マツダフレアワゴン、マツダMPV、トヨタラクティス</p> <p>イ 貸出件数 18件（走行実績1,091km） 【21件（走行実績1,271km）】</p>	<p>利用目的は、親の通院介護等によるものが多く、今後も需要が見込まれるため、事業を継続する必要がある。</p> <p>今年度は利用者の利便性向上等を勘案し、貸出要綱を改正した。</p>

(5) 生活福祉資金の受付

低所得者、障害者及び高齢者世帯に対し、山口県社会福祉協議会が行う生活福祉資金の受付を行った。

① 生活福祉資金の貸付

事業報告	評価								
<p>ア 生活福祉資金の貸付</p> <p>㊦ 相談件数 1,637件【472件】</p> <p>㊧ 貸付件数 668件（県社協貸付）【26件】 〔内訳〕</p> <table style="margin-left: 20px;"> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>204件【0件】</td> </tr> <tr> <td>教育支援資金</td> <td>2件【5件】</td> </tr> <tr> <td>福祉資金</td> <td>462件【21件】</td> </tr> <tr> <td>不動産担保型生活資金</td> <td>0件【0件】</td> </tr> </table> <p>イ 臨時特例つなぎ資金の貸付</p> <p>㊦ 相談件数 0件【0件】</p> <p>㊧ 貸付件数 0件【0件】</p>	総合支援資金	204件【0件】	教育支援資金	2件【5件】	福祉資金	462件【21件】	不動産担保型生活資金	0件【0件】	<p>新型コロナウイルス感染症による収入減により、特例での緊急小口福祉資金、総合支援資金の貸付が増大した。</p> <p>自立相談支援センターと連携を図りながら貸付することにより、自立を促進できた。今後、償還に向けての支援も必要である。</p>
総合支援資金	204件【0件】								
教育支援資金	2件【5件】								
福祉資金	462件【21件】								
不動産担保型生活資金	0件【0件】								

② 研修会等への参加

事業報告	評価
<p>令和2年11月25日 暮らしとこころの合同相談会 防府総合庁舎 参加人員 1人</p>	<p>コロナ禍で研修会等の多くは開催が見送られた。</p>

2 権利擁護事業

6,830,676 円

(1) 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）

専門員、推進員、生活支援員等が協力し、日常生活上の判断が十分できない人や日常生活に不安のある人が、地域で安心して生活できるように、福祉サービスの利用援助やそれに伴う日常的な金銭管理等を支援した。

① 地域福祉権利擁護事業（日常生活自立支援事業）の利用促進

事業報告	評価																																													
<p>ア 相談者及び利用者への支援</p> <p>㊦ 専門員、推進員、生活支援員の設置</p> <table border="0"> <tr> <td>専門員</td> <td>3人【 2人】</td> </tr> <tr> <td>推進員</td> <td>1人【 1人】</td> </tr> <tr> <td>実稼働生活支援員</td> <td>14人【14人】</td> </tr> </table> <p>㊧ 活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相談件数 <table border="0"> <tr> <td>問合せ</td> <td>128件【105件】</td> </tr> <tr> <td>初回相談</td> <td>18件【 26件】</td> </tr> <tr> <td>相談援助</td> <td>4, 428件【4, 583件】</td> </tr> </table> ・書類等預かりサービス 34件【 36件】 ・日常的な金銭管理サービス 47件【 49件】 <p>㊨ 書類預かりサービス現物調査（山口県社会福祉協議会実施） 令和2年 7月28日 防府市文化福祉会館</p> <p>㊩ 運営適正化委員会調査（山口県社会福祉協議会実施） 令和2年12月 3日 防府市文化福祉会館</p> <p>㊪ 審査会（山口県社会福祉協議会）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事務局審査会 <table border="0"> <tr> <td>令和2年 4月 8日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和2年 4月22日</td> <td>審査件数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和2年 5月11日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和2年 6月 3日</td> <td>審査件数</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>令和2年 6月17日</td> <td>審査件数</td> <td>1件</td> </tr> <tr> <td>令和2年 7月15日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月 2日</td> <td>審査件数</td> <td>3件</td> </tr> <tr> <td>令和2年12月16日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和3年 1月20日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和3年 2月 3日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> <tr> <td>令和3年 3月17日</td> <td>審査件数</td> <td>2件</td> </tr> </table> 	専門員	3人【 2人】	推進員	1人【 1人】	実稼働生活支援員	14人【14人】	問合せ	128件【105件】	初回相談	18件【 26件】	相談援助	4, 428件【4, 583件】	令和2年 4月 8日	審査件数	2件	令和2年 4月22日	審査件数	1件	令和2年 5月11日	審査件数	2件	令和2年 6月 3日	審査件数	3件	令和2年 6月17日	審査件数	1件	令和2年 7月15日	審査件数	2件	令和2年12月 2日	審査件数	3件	令和2年12月16日	審査件数	2件	令和3年 1月20日	審査件数	2件	令和3年 2月 3日	審査件数	2件	令和3年 3月17日	審査件数	2件	<p>事業の周知により、問い合わせが増加した。</p> <p>利用者の意思の尊重と利益の保護のため、利用者と共に考え、各関係機関と連携し支援を行った。自宅訪問などアウトリーチを積極的に行うことで個別支援（訪問、電話、手続き等）の充実を図ることができた。</p> <p>今後の課題として、相談件数の増加に伴い、個別支援の質の安定と生活支援員を含めた支援者の充実が必要である。</p>
専門員	3人【 2人】																																													
推進員	1人【 1人】																																													
実稼働生活支援員	14人【14人】																																													
問合せ	128件【105件】																																													
初回相談	18件【 26件】																																													
相談援助	4, 428件【4, 583件】																																													
令和2年 4月 8日	審査件数	2件																																												
令和2年 4月22日	審査件数	1件																																												
令和2年 5月11日	審査件数	2件																																												
令和2年 6月 3日	審査件数	3件																																												
令和2年 6月17日	審査件数	1件																																												
令和2年 7月15日	審査件数	2件																																												
令和2年12月 2日	審査件数	3件																																												
令和2年12月16日	審査件数	2件																																												
令和3年 1月20日	審査件数	2件																																												
令和3年 2月 3日	審査件数	2件																																												
令和3年 3月17日	審査件数	2件																																												

<ul style="list-style-type: none"> ・契約締結審査会 令和2年 4月30日 審査件数 1件 山口市 参加人員 2人 ・新規契約及び解約件数 新規契約 8件【11件】 解 約 9件【 9件】 <p>イ 地域住民及び関係機関等への周知 地域包括支援センター及び民生委員・児童委員にパンフレットを配布し説明を行った。</p> <p>ウ 必要に応じたケース会議等への参加 利用者を取り巻く状況や発生した課題に対して、利用者の意思を尊重した上で、関係者同士で支援の方向性を共有するためのケース会議に参加した。</p> <p>エ 専門員、推進員及び生活支援員の資質向上</p> <p>㊦ 専門員会議 令和2年11月10日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため資料配布</p> <p>㊧ 専門員・推進員・生活支援員研修会等 令和2年11月12日 山口県地域福祉権利擁護事業新任担当者研修会 動画配信 参加人員 5人 中国ブロック日常生活自立支援事業専門員研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止 現任生活支援員研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	<p>県社協審査会に書類を提出後、契約可能となりながら、契約につながらなかったケースが6件あった。</p> <p>ケース会議に参加することで利用者と各関係機関内での支援の方向性が明確となり、包括的な支援につながった。</p> <p>県社協主催の研修会等については、新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から書面もしくはWeb開催にて情報収集を行った。</p>
---	---

(2) 法人成年後見受任事業

後見人が必要な状況にもかかわらず、親族による後見を受けられなく、経済的な事情から他の後見人を得られない人のために、後見人として4件、保佐人として2件の財産管理や身上監護の後見業務を行った。

① 成年後見の受任

事業報告		評 価
ア 新規問合せ	1件【 2件】	新規に保佐人として1件受任した。被後見人等として財産管理や身上監護の後
イ 受任件数	6件【 6件】	

新規	1件【0件】	見業務を毎月行い、被後見人等の意向に添った支援ができた。 被後見人の死亡により1件終了した。
終了	1件【0件】	
ウ 後見業務回数	231回【80回】	
エ 相談件数	464件【443件】	

② 法人の成年後見受任の促進

事業報告	評価
防府市地域包括支援センターと連携を深めた。 成年後見の申立ての相談を受けて法人後見人として受任できることを教示した。	市地域包括支援センターに市長申立ての後見人として受任できることを周知した。

③ 関係機関との協力体制の構築

事業報告	評価
法人成年後見人として円滑な支援ができるよう関係機関との協力体制の構築に努めた。	関係機関と連携することにより、被後見人に寄り添った支援ができた。

④ 法人成年後見支援センター（山口県社会福祉協議会）との連携

事業報告	評価
令和2年12月24日 山口県権利擁護人材育成合同研修会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催 市町社協法人成年後見連絡会議 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、会議等に参加して連携を図ることはできなかった。

(3) 成年後見制度利用促進事業

① 成年後見制度の周知

事業報告	評価
成年後見制度を正しく理解するとともに、成年後見制度の利用促進を図る機会としてセミナーを開催した。またチラシ5,000部を作成し、関係団体等に配布することで制度について周知した。	成年後見を必要とする人が制度を適切に利用できるよう、成年後見制度について市民への周知が更に必要

令和3年 2月 3日 防府市成年後見利用促進セミナー 防府市文化福祉会館 参加人員 40人	である。
---	------

② 相談窓口の設置

事業報告	評価
成年後見制度に対する相談を受け付けた。	状況を聞き取り、適切な機関につなげた。

③ 地域連携ネットワークづくり

事業報告	評価
令和2年 7月29日 防府市成年後見制度利用促進検討会（第1回） 防府市役所 参加人員 3人	地域連携ネットワークや中核機関の役割等体制整備について、検討することができた。
令和2年10月27日 成年後見制度利用促進体制整備研修会 山口市 参加人員 1人	
令和2年11月 2日 防府市成年後見制度利用促進検討会（第2回） 防府市役所 参加人員 3人	
令和2年12月 4日 成年後見制度利用促進検討会 山口市 参加人員 1人	
令和3年 3月19日 防府市成年後見制度利用促進検討会（第3回） 防府市役所 参加人員 2人	

④ ニーズ調査の実施

事業報告	評価
ア 調査の目的 本市における成年後見制度に対する認知度について調査し、制度の利用促進に向けた中核機関等に必要な機能・役割についての検討材料とするため。	高齢者や障害がある方々に対して、地域で身近に接している主な関係機関(者)の成年後見ニーズを確認することができた。
イ 調査の方法	

<p>㉞ 調査対象地域 防府市全域</p> <p>㉟ 調査種別及び対象者 介護保険関係施設、障害者相談支援事業所、障害者入所施設、医療相談室又は相談員が配置されている病院（個人病院を除く）、民生委員・児童委員（主任児童委員含む）の全てを対象とした。</p> <p>ウ 調査期間 令和2年9月～12月</p> <p>エ 回収率 92.1%</p>	
--	--

3 生活困窮者自立支援事業

12,453,254円

(1) 防府市自立相談支援センターの機能充実

生活保護に至る前の段階の自立支援策を強化するために平成27年度に施行された生活困窮者自立支援法に基づいて、市からの委託を受けて防府市自立相談支援センターを運営して事業を実施した。

① 自立相談支援センター及び制度の周知

事業報告	評価
<p>広報紙「社協だより防府」と「やまぐち就職氷河期世代活躍支援プラットフォーム」のリーフレットに事業内容を掲載し、防府市報には住居確保給付等の制度について掲載した。また、相談窓口などにチラシを設置し周知に努めた。</p>	<p>広報紙を見た相談者や民生委員からの紹介が多く、広報の成果があったと思われる。引き続き周知に努めたい。</p>

② 自立相談支援事業の実施

事業報告	評価
<p>ア 相談件数 8,332件【9,907件】</p> <p>イ 相談者数 627人【215人】</p> <p>ウ 登録者数 212人【93人】</p> <p>エ 支援決定数 250人（プラン策定者）【93人】</p> <p>オ 就職者数 40人【33人】</p>	<p>国の指針は達成 ※10万都市の場合 相談者数 26人/月 登録者数 13人/月 ※防府市10万人当たり 相談者数33.6人/月 登録者数15.4人/月</p>

③ 住居確保給付金の支給

事業報告		評 価
ア 相談件数	837件【25件】	コロナ禍の影響により収入が下がった方が激増し、申請要件が緩和したため、申請の相談が殺到した。家賃を給付することで、相談者が安心して就労や就職活動をする事ができた。
イ 申請件数	128件【8件】	
ウ 決定件数	127件【7件】	

④ 一時生活支援事業の実施

事業報告		評 価
ア 支援者数	2人(2件)【4人(5件)】	住居喪失者にホテル等で宿泊、食事の支援を行いながら、就職やその他解決策につなげることができた。
イ 利用期間		
1泊2日	0人【4人】	
3泊4日	0人【1人】	
4泊5日	1人【0人】	
6泊7日	1人【0人】	

⑤ 家計改善支援事業の実施

事業報告		評 価
ア 支援者数	1人【7人】	収支のバランスが崩れているため、借金を繰り返すなど、生活に困窮してしまう相談者に対して家計収支の改善を行い、自立した生活を送るように支援した。
イ 弁護士相談実績	1件【2件】	

⑥ 就労訓練事業の推進

事業報告	評 価
近郊の認定就労訓練事業所と連携し、就労のきっかけをつかめるよう支援することにより、直ちに一般就労が困難な人に対して、就労の機会を提供するように努めた。	中間就労事業所として登録を促すが、登録の難しさなどの理由で登録までには

	至らなかった。行政との連携が必要である。
--	----------------------

⑦ 住宅確保の推進

事業報告	評価
市内の不動産会社や生活困窮者支援を実施している NPO 法人と連携し、入居困難者の住居確保に取り組んだ。	連携団体との関係性を深めることにより、入居困難者に住居を確保することができた。

⑧ 関係機関との連携

事業報告	評価
<p>ア 自立相談支援事業支援調整会議の開催 毎月第4木曜日 防府市文化福祉会館 参加人員 7人</p> <p>イ 防府地域生活保護受給者等就労自立促進事業協議会 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	市、ハローワーク、県社協、市社協、自立相談支援センターが出席。自立相談支援センターの状況報告、相談者の推移、相談者の支援概況等を情報共有し協議することができた。

⑨ 相談体制の構築

事業報告	評価
<p>令和2年 6月16日 フードバンクほうふステーション設置に関する会議 防府市文化福祉会館 参加人員 2人</p> <p>令和2年 7月21日 生活困窮者自立支援制度企画会議（第1回） 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年10月 2日 生活困窮者自立支援制度企画会議（第2回） 山口市 参加人員 1人</p> <p>令和2年10月 7日 山口・防府圏域ひきこもり支援ネットワーク会議 山口市 参加人員 2人</p> <p>令和2年10月13日 生活困窮者自立相談支援事業に係わるヒアリング 防府市役所 参加人員 1人</p> <p>令和2年10月30日～12月25日</p>	会議等に参加することにより、関係機関とのネットワークを構築することができた。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、リモート会議やオンデマンド研修も導入され、これまでにない形式で見識を深めることができた。

自立支援事業従事者養成研修（主任・就労準備） オンデマンド配信 参加人員 2人 令和2年11月 9日～11月10日 生活困窮者自立支援事業従事者養成研修 山口市 参加人員 3人 令和2年12月 7日 ひきこもり支援研修（ひきこもりサポーター養成研修） 山口市 参加人員 1人 令和3年 1月15日 ひきこもり実務者研修 山口市 参加人員 1人 令和3年 2月19日 生活困窮者自立支援事業従事者スキルアップ研修会 ライブ配信 参加人員 2人 令和3年 3月 2日 罪を犯した障害者・高齢者の支援に携わる福祉関係者のための 研修会 オンデマンド配信 参加人員 2人 令和3年 3月22日 居住支援全国サミット ライブ配信 参加人員 2人	
--	--

(2) 生活困窮者に対する支援

防府市自立相談支援センターへの相談者に市からの委託以外の支援を実施した。

① 無料職業紹介事業の推進

事業報告							評 価	
防府市自立相談支援センターとして職業紹介事業を行った。							コロナ禍においてイベント等が中止となったこともあり、短期の求人もなかった。	
業種別就職実績								
区分	種別	軽 作 業 雑 役	製 造	事 務	宿 直 警 備	その他		合 計
	求人数	男	0【9】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
求職数	男	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
紹介数	男	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
就職者数	男	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】		0【0】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	

② 食糧支援の体制づくり（フードバンク）

事業報告	評 価
<p>食糧支援活動について、広報紙「社協だより防府」で広報して周知を図った。</p> <p>新たに発足したフードバンクほうふステーションやフードバンク山口と連携を図り、スーパーに設置されたフードバンクポストを定期的に回収することで、生活困窮者に食糧を提供した。</p>	<p>市民の方から多くの食品寄贈を受けた。市民の関心度が高く、体制づくりの充実が必要である。</p>

4 高齢者能力開発情報センター事業

0円

高齢者の能力の開発や向上を図るため、各種相談に応じるとともにその能力に応じた就労斡旋の機会の確保及び高齢者の生きがい対策に資するために実施した。

(1) 就労斡旋事業及び福祉情報等サービス事業の推進

事業報告	評 価
<p>求人の開拓、事業の啓発及び高齢者に関する情報等を広報紙「社協だより防府」に掲載して啓発した。</p>	<p>求職の問合せはあるが求人の問合せはない。</p>

(2) 高齢者無料職業紹介所事業の推進

事業報告	評 価																				
<p>65歳以上の高齢者への求職申し込みに対して、就労の場を提供した。</p> <p>① 高齢者求人求職相談の受付 ア 開設日数 245日【240日】 イ 相談件数 4件【4件】</p> <p>② 求職登録者の年齢及び男女別数</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>年齢別 区分</th> <th>65歳 ～69歳</th> <th>70歳 ～74歳</th> <th>75歳以上</th> <th>計</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>男</td> <td>0【1】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【1】</td> </tr> <tr> <td>女</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> </tr> <tr> <td>合計</td> <td>0【1】</td> <td>0【0】</td> <td>0【0】</td> <td>0【1】</td> </tr> </tbody> </table>	年齢別 区分	65歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳以上	計	男	0【1】	0【0】	0【0】	0【1】	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	合計	0【1】	0【0】	0【0】	0【1】	<p>例年は短期の求人はあるが、コロナ禍においてイベント等が中止となり、求人がなかった。</p> <p>常勤の求人がないことから求職者数も少なかった。</p>
年齢別 区分	65歳 ～69歳	70歳 ～74歳	75歳以上	計																	
男	0【1】	0【0】	0【0】	0【1】																	
女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】																	
合計	0【1】	0【0】	0【0】	0【1】																	

③ 業種別就職実績							
種別 区分	軽作業	家事手伝い	事務	宿直	その他	合計	
	雑役	留守番		警備			
求人数	男	0【9】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【9】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
求職数	男	0【9】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【9】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
紹介数	男	0【9】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【9】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】
就職者数	男	0【9】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【9】
	女	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】	0【0】

5 資金貸付事業

610,700円

資金の貸し付けを通して経済的な自立を図ることによって、住民の地域での安定した生活ができるよう支援した。

(1) 小口福祉資金の貸付

事業報告	評価
<p>低所得世帯が様々な事情により不時の出費が必要となった場合に貸付を行った。</p> <p>① 相談件数 89件【189件】</p> <p>② 貸付 件数 14件【17件】 金額 455,000円【330,000円】</p> <p>③ 償還 件数 50件【74件】 金額 288,700円【624,574円】</p>	<p>貸付により、一時的な出費に対応でき、民生委員につなげることにより見守り体制ができた。</p>

(2) 介護サービス費（住宅改修・福祉用具購入）立替金の貸付

事業報告	評 価
<p>介護保険被保険者が居宅生活を営むうえで必要な住宅改修及び福祉用具購入費の一部立替を行った。</p> <p>① 住宅改修費立替金</p> <p>ア 相談件数 1件【2件】</p> <p>イ 貸 付 件 数 1件【2件】 金 額 155,700円【218,880円】</p> <p>ウ 償 還 件 数 2件【1件】 金 額 194,580円【180,000円】</p> <p>② 福祉用具購入費立替金</p> <p>ア 相談件数 0件【2件】</p> <p>イ 貸 付 件 数 0件【2件】 金 額 0円【40,226円】</p> <p>ウ 償 還 件 数 2件【0件】 金 額 40,226円【0円】</p>	<p>介護保険が適応される支払いについて、福祉用具購入の立替金の貸付をすることにより自立した生活が確保できた。</p>

(3) 生活安定対策資金の貸付

事業報告	評 価
貸付なし	

【共同募金事業】

16,067,386 円

1 一般共同募金配分金事業

山口県共同募金会からの配分金により、高齢者、障害者・児、児童・青少年福祉及び福祉育成・援助活動等に対し、次の事業を実施した。

(1) 老人福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 敬老の日記念行事等の支援</p> <p>ア 地区社会福祉協議会主催による記念行事等へ助成</p> <p>全地区において、新型コロナウイルス感染症の影響で集まる形の敬老会（式典等）を中止して単位自治会での実施となった。各地区福祉関係者（民生委員・児童委員、福祉員、友愛訪問グループ員、自治会役員、老人クラブ等）により、祝金や商品券、記念品を対象者宅に届けるため助成した。</p> <p>イ 社会福祉施設主催による記念行事等へ助成</p> <p>市内5か所の特別養護老人ホーム、1か所の有料老人ホームで実施される敬老の日等記念行事に対して助成した。</p> <p>② 防府市老人クラブ連合会の支援</p> <p>防府市老人クラブ連合会に活動費を助成し活動を支援した。</p> <p>③ 老人週間の啓発</p> <p>関係機関及び老人福祉施設等に老人福祉週間啓発ポスターを掲示し、啓発を図った。</p> <p>掲示場所 市内229か所【市内226か所】</p>	<p>敬老の日記念行事等を開催した地区社協や社会福祉施設に助成した。75歳以上の方へお祝いの気持ちを伝えると同時に、社会参加や交流の機会にもなっている。実情に応じた敬老の日記念行事等の運営について支援した。</p> <p>関係機関や商業施設、公共施設等にポスターを掲示し、啓発に努めた。</p>

(2) 障害者・児福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 新規障害者手帳取得者及び新規療育手帳A取得者の支援</p> <p>65歳未満の身体障害者手帳1級取得者及び療育手帳A取得者の新規取得時に支援金を支給し支援した。</p> <p>対象者数 25人【28人】</p> <p>② 障害者福祉団体等の支援</p> <p>市障害福祉団体連合会、自閉症児（者）親の会に活動費を助成して活動を支援した。</p>	

<p>③ 障害者スポーツ振興事業の支援 第21回防府車椅子・F I Dバスケットボール大会（令和2年11月22日）の開催にあたり助成して大会を支援した。</p> <p>④ 障害児童・生徒への卒業記念品贈呈 令和2年12月 1日 卒業記念品贈呈式 防府市総合支援学校 小学校卒業生（目覚時計） 46人【23人】 中学校卒業生（腕時計） 38人【26人】</p>	<p>障害がある児童・生徒の卒業を祝い、卒業記念品を贈呈して門出を祝福した。</p>
---	--

(3) 児童・青少年福祉活動事業の推進

事業報告	評 価
<p>① 新生児の支援 赤ちゃん文庫として本年度誕生した赤ちゃん全員に対し、母子保健推進員の協力を得て生後3か月児の家庭訪問に際して、絵本を2冊ずつ贈呈した。 新型コロナウイルスの感染症拡大により、5月から母子保健推進員の訪問を休止し、保健センターで保健師からの手渡しへ変更となったが、9月から事前に電話で了解を得た上で訪問・絵本の贈呈を再開した。 また、コロナ禍で里帰り時期の延長等のため、訪問時期を産後2か月から3か月に変更して実施した。 人 数 799人【867人】</p> <p>② 児童及び青少年福祉団体の支援 防府市子ども会育成連絡協議会、防府市里親会、社会を明るくする運動、防府スカウト協議会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>③ 海水浴場へ救急薬品贈呈 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>④ 小学校新入学児童のお祝品贈呈 小学校の令和3度に入学者の新入学児童全員に対し、連絡帳入りクリアケースを贈呈した。 贈呈数 1,065セット【1,200セット】</p>	<p>子育て家庭を応援する地域づくりを進め、子育ての孤立や育児不安の抱え込みの防止につながっている。 子育て支援のため問題の早期発見・早期対応のための関係機関との連携につながっている。 今後、視覚障害のある方や外国語を母語とする方への配慮が求められる。</p> <p>連絡帳等を活用して児童、学校及び家庭とのつながりを強化できた。 鉛筆の本数を増やすことでコロナ禍での入学準備への負担軽減に努め、小学校から感謝の声があった。</p>

<p>⑤ 児童福祉週間の啓発 関係機関及び児童福祉施設等に児童福祉週間啓発ポスターを掲示し、啓発を図った。 掲示場所 市内85か所【市内83か所】</p>	<p>関係機関や商業施設、公共施設等にポスターを掲示し、啓発に努めた。</p>
---	---

(4) 福祉育成・援助活動事業の推進

事業報告	評価
<p>① 地区社会福祉協議会等地域福祉活動の支援</p> <p>ア 地区社会福祉協議会だより発行助成</p> <p>牟礼地区社会福祉協議会 6, 380部【6, 200部】 勝間地区社会福祉協議会 2, 600部【2, 600部】 華浦地区社会福祉協議会 4, 000部【4, 000部】 野島地区社会福祉協議会 100部【100部】 新田地区社会福祉協議会 3, 450部【3, 400部】 中関地区社会福祉協議会 5, 160部【5, 150部】 華城地区社会福祉協議会 6, 300部【6, 300部】 西浦地区社会福祉協議会 1, 350部【1, 400部】 右田地区社会福祉協議会 5, 100部【5, 100部】 富海地区社会福祉協議会 1, 200部【1, 200部】 小野地区社会福祉協議会 1, 200部【1, 200部】 大道地区社会福祉協議会 2, 000部【1, 900部】</p> <p>イ 地区社会福祉協議会へ防災研修費助成</p> <p>令和2年 6月28日 小野地区社会福祉協議会 小野地区全域 参加人員 250人【250人】 令和2年 9月16日 富海地区社会福祉協議会 富海小中学校 参加人員 20人【一人】 令和2年10月17日 大道地区社会福祉協議会 大道中学校 参加人員 40人【50人】 令和2年12月 5日 華浦地区社会福祉協議会 華浦小学校ほか 参加人員 160人【470人】 令和2年12月24日 牟礼地区社会福祉協議会 牟礼公民館 参加人員 40人【70人】 令和3年2月下旬 華城地区社会福祉協議会 各自治会に非常食を配布 自治会数 25自治会 令和3年 3月 3日 松崎地区社会福祉協議会 防災関係の資料を配布 対象者 670人 令和3年 3月10日 勝間地区社会福祉協議会 勝間公民館 参加人員 30人【40人】</p>	<p>広報紙の発行により、住民に地域に密着した福祉情報等が提供された。</p> <p>平常時からの防災意識を高めるため、地区社協単位で研修会等が開催された。</p>

② 被災世帯の支援

火事見舞い 8件（全焼8件）

【2件（全焼2件）】

③ 生活困窮者支援事業

緊急に必要な資金を支給 2件（4,720円）

【9件（30,356円）】

④ 団体活動の支援

ア 防府市幼稚園連盟へ福祉教育推進のための助成

イ 防府市保育協会へ福祉教育のための助成

ウ 地域自治会連合会へ自治会福祉部活動推進のための助成

エ 地区民生委員児童委員協議会研修のための助成

令和2年 8月 6日、12月10日

中関地区民生委員児童委員協議会

中関公民館 参加人員 各22人【55人】

令和2年 9月10日 大道地区民生委員児童委員協議会

大道公民館 参加人員 14人【15人】

令和2年10月10日 小野地区民生委員児童委員協議会

小野公民館 参加人員 26人【45人】

令和2年11月 9日 勝間地区民生委員児童委員協議会

勝間公民館 参加人員 15人【14人】

令和2年11月10日 松崎地区民生委員児童委員協議会

障害者支援施設「華の浦」「華南園」

参加人員 23人【17人】

令和2年11月11日 西浦地区民生委員児童委員協議会

西浦公民館 参加人員 12人【12人】

令和2年11月12日 佐波地区民生委員児童委員協議会

佐波公民館 参加人員 18人【26人】

令和2年11月18日 右田地区民生委員児童委員協議会

右田公民館 参加人員 24人【24人】

令和2年11月27日～28日

華城地区民生委員児童委員協議会

社会福祉法人ふたば園 参加人員 13人【15人】

令和2年12月 8日 牟礼地区民生委員児童委員協議会

牟礼公民館 参加人員 30人【132人】

早急にライフラインの復旧が必要な生活困窮者への対応ができ、就労に向けての一時的な支援につながった。

地区民児協の研修を支援し、民生・児童委員の資質向上を図った。研修内容について地区民児協の相談に応じた。

<p>令和2年12月 8日 向島地区民生委員児童委員協議会 向島公民館 参加人員 9人【4人】</p> <p>令和3年 1月 9日 新田地区民生委員児童委員協議会 新田公民館 参加人員 16人【14人】</p> <p>令和3年 3月 8日 富海地区民生委員児童委員協議会 富海公民館 参加人員 15人【9人】</p>	
<p>⑤ 市民手話講習会の開催</p> <p>手話の入門編として、市民手話講習会を開催した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昼の部 令和3年 2月 3日～ 3月10日（6回） 防府市文化福祉会館 参加延人員 46人【50人】 ・夜の部 令和3年 2月 3日～ 3月10日（6回） 防府市文化福祉会館 参加延人員 47人【57人】 	<p>受講者が聴覚障害者とのふれあいの中から手話を学び、聴覚障害についての理解やボランティアの意義について共に考える場づくりをした。</p> <p>開催時間の短縮と参加人数を削減し、新型コロナウイルス感染症対策に努めた。</p>
<p>⑥ 防府市障害者福祉啓発セミナーの開催</p> <p>令和2年12月 4日 防府市文化福祉会館 参加人員 56人(内Web参加者9人)【52人】</p> <p>[内容]</p> <p>演題 「障害とは？～誰もが集え、誰もが人間として～」</p> <p>講師 (社福)山家連福祉事業会 夢かれん サービス管理者 津田隆志 氏</p>	<p>共生社会の実現を目指し、障害の有無にかかわらず、誰もが地域社会で安心して生活できる支援等について理解を深めた。</p>

(5) ボランティア活動育成事業の推進

事業報告	評価
<p>① ボランティア団体の活動助成 防府ボランティア連絡会に活動費を助成して活動を支援した。</p> <p>② ボランティア体験月間の啓発活動</p> <p>ア 親子福祉体験教室 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p> <p>イ ワークキャンプ（施設体験学習）の開催 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>	<p>今年度は新型コロナウイルス感染症の関係で従来の開催が困難となり中止した。</p> <p>今後は新型コロナウイルス感染症の対策を取りながら、福祉を身近に感じる機会づくりになるような企画をしていきたい。</p>

2 歳末たすけあい配分金事業

「みんなでささえあうあったかい地域づくり」をスローガンに、12月1日から31日までの1か月間実施される歳末たすけあい運動における募金を山口県共同募金会から配分金を受けて、次の事業を実施した。

(1) 生活困難世帯の支援

事業報告	評価
<p>生活困難世帯（生活保護世帯を除く）に対して、義援金を配付した。</p> <p>在宅の生活困難世帯 101世帯【109世帯】</p>	<p>民生・児童委員の協力を得て調査や配付を行うことができ、見守り活動や実態把握の一助となった。</p>

(2) 児童養護施設の支援

事業報告	評価
<p>児童福祉施設入所児と退所する児童に対して、義援金を配付した。</p> <p>① 市内社会福祉施設入所児童 63人【65人】</p> <p>② 児童養護施設退所児への支援 5人【5人】</p>	<p>児童養護施設入所児、退所児へ義援金を贈ることで地域の支え合いの気持ちが届けられた。</p>

(3) ふれあい・いきいきサロン活動の支援

事業報告	評価
<p>年末年始にクリスマス会、忘年会及び新年会を兼ねて開催されるふれあい・いきいきサロンに対し、義援金（市内共通商品券）を配付した。新型コロナウイルスの感染症拡大の影響により、申請数が例年の半分程度であった。</p> <p>ふれあい・いきいきサロン活動への支援 49か所【106か所】</p>	<p>サロン活動の活性化と運営の安定化を図る必要がある。</p> <p>申請対象とする開催内容については、今後検討したい。</p>

(4) 地域福祉活動の支援

事業報告	評価
<p>歳末の時期に在宅ひとり暮らし高齢者等に対し、地区の特性を生かした事業を展開してもらえるよう地区社会福祉協議会の事業活動に配分した。</p>	<p>地区社協が実施する歳末たすけあい運動を支援し、地域の見守りや支え合いの</p>

<p>① 地域福祉活動への支援 15地区社会福祉協議会 【15地区社会福祉協議会】</p> <p>② 対象者 7,173人【7,043人】</p>	<p>活動を促進した。</p>
---	-----------------

【団体事務受託業務】

1 防府市民生委員・児童委員協議会事務局の業務

事業報告	評価
<p>(1) 防府市民生委員・児童委員協議会の活動支援 防府市民生委員・児童委員協議会の事務局を受託し、活動を支援した。</p> <p>① 定例理事会の開催 偶数月の第1水曜日</p> <p>② 部会等の開催 令和2年 6月16日 児童福祉部会研修会 ※中止 令和2年 6月 障害者福祉部会研修会 ※中止 令和2年 9月29日 高齢者福祉部会研修会 ※中止 (研修会資料配布 86人)</p> <p>(2) 研修会等へ職員引率 令和2年 8月25日 現任民生委員児童委員研修会 山口市 参加人員 1人 令和2年10月15日 中堅民生委員児童委員研修会 山口市 参加人員 1人 令和2年11月27日 市町地区民生委員児童委員協議会会長・副会長研修会 山口市 参加人員 1人 令和3年 3月15日 児童委員・主任児童委員研修会 防府市役所 参加人員 2人</p>	<p>事務局として定例理事会の運営や各部会活動を支援し、市民児協全体の活動を促進した。</p> <p>市担当課と協力して民生・児童委員の各種研修会参加を支援し、資質の向上に寄与した。</p> <p>新型コロナウイルス感染症拡大防止対策への民児協の対応について、単位民児協へ周知徹底を行った。</p> <p>オンライン研修会のDVDを借り、視聴会を開催することで各部会委員が担当する内容に合った研修に参加できるようにした。</p>

2 山口県共同募金会防府市共同募金委員会事務局の業務

事業報告	評価
<p>(1) 防府市共同募金委員会の開催</p> <p>① 運営委員会 令和2年 4月30日 ※新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面決議</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運営委員の選任について ・副会長の選任について ・審査委員の選任について ・令和元年度収支決算について ・令和2年度事務費収支予算(案)について 	<p>地域の支援者と協力しながら募金活動を推進した。</p> <p>審査委員会による助成審査を行い、透明性の確保に努めた。</p>

令和2年 9月28日

- ・令和元年度共同募金による令和2年度配分の結果について
- ・運営委員の選任について
- ・令和2年度収支予算（案）について
- ・令和2年度共同募金運動及び歳末たすけあい運動の実施について

② 審査委員会

令和2年 7月 7日

- ・令和3年度共同募金地域福祉活動助成（B配分）審査について
- ・令和3年度地域歳末たすけあい募金助成（C配分）審査について

令和3年 2月22日

- ・令和2年度赤い羽根共同募金運動及び歳末たすけあい運動の結果報告について
- ・令和3年度共同募金地域福祉活動助成（B配分）最終審査について
- ・令和3年度地域歳末たすけあい募金助成（C配分）最終審査について

(2) 監査会の開催

令和2年 4月14日

- ・令和元年度事業及び会計監査

(3) 共同募金活動の推進

- ① 各種募金活動の推進
- ② 各地区共同募金委員会活動の支援
- ③ 募金の集計及び管理

(4) 災害見舞金（義援金）の受付

- ・平成28年熊本地震義援金
- ・平成30年7月豪雨災害義援金
- ・令和元年8月佐賀県豪雨災害義援金
- ・令和元年台風15号災害義援金
- ・令和元年台風19号災害義援金
- ・令和2年7月豪雨災害義援金
- ・令和3年2月福島県沖地震災害義援金